

天皇杯授与

第69回

全日本剣道選手権大会

令和3年11月3日(祝)

午前9時30分 開会 / 午前10時 試合開始

日本武道館

(東京都千代田区北の丸公園2-3)

主催/公益財団法人全日本剣道連盟

主管/一般財団法人東京都剣道連盟

後援/スポーツ庁・読売新聞社・公益財団法人日本武道館

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとようとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

大会次第

1. 係 員 集 合 7 : 30
2. 選 手 集 合 8 : 00
3. 役 員 ・ 審 判 員 整 列 9 : 20
4. 選 手 整 列 9 : 25 ~ 9 : 30
5. 開 会 式 9 : 30 ~ 9 : 45
6. 日 本 剣 道 形 9 : 45 ~ 9 : 55
7. 試 合 1 回 戦 各 2 試 合 場 (各 16 試 合) 10 : 00 ~ 12 : 40
8. 試 合 2 回 戦 各 2 試 合 場 (各 8 試 合) 12 : 40 ~ 14 : 00
9. 試 合 3 回 戦 各 2 試 合 場 (各 4 試 合) 14 : 00 ~ 14 : 40
10. 試 合 4 回 戦 各 2 試 合 場 (各 2 試 合) 14 : 40 ~ 15 : 00
11. 試 合 準 決 勝 1 試 合 場 (2 試 合) 15 : 10 ~ 15 : 30
12. 試 合 決 勝 1 試 合 場 (1 試 合) 15 : 40 ~ 15 : 50
13. 閉 会 式 (表 彰) 16 : 00 ~ 16 : 25

開 会 式

1. 役 員 ・ 審 判 員 整 列 9 : 20
2. 選 手 整 列 9 : 25
3. 国 歌 斉 唱
4. 天 皇 杯 返 還 (レプリカ授与)
5. 優 勝 旗 返 還
6. 大 会 会 長 挨 拶
7. 関 係 者 紹 介
8. 試 合 上 の 注 意
9. 選 手 退 場 9 : 45

閉 会 式

1. 選 手 整 列 16 : 00
2. 役 員 ・ 審 判 員 整 列
3. 表 彰
4. 優 秀 選 手 発 表
5. 大 会 会 長 挨 拶
6. 退 場 16 : 25

第69回 全日本剣道選手権大会要項抜粋

1 趣 旨

剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた選手により、天皇杯の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

2 選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

3 出場選手資格および人員

(1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している男子。

(2) 年齢は満20歳以上とし、段位の制限はしない。(年齢計算は、今大会前日の令和3年11月2日を基準とし、平成13年11月2日以前に生まれた者)

(3) 予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。

予選会出場者は、令和3年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。

(4) 出場選手人員は次のとおりとする。

ア 東京…4名

イ 埼玉・千葉・大阪・福岡…3名

ウ 北海道・茨城・神奈川・静岡・愛知・兵庫…2名

エ その他の府県…1名

計64名

4 試合・審判および試合方法

(1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法)に記載の試合方法による。

(2) 試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位(2名)を決定する。

(3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗の決するまで継続する。

5 表 彰

(1) 選手権者には、天皇杯・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。

(2) 第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。

(3) 優秀選手には、優秀選手賞を贈る。

(4) 出場選手には参加賞を贈る。

我が国の剣道の流れ

徳川幕藩体制の崩壊——明治維新の政道一新によって衰頹の一途を辿った剣道界は、明治28（1895）年、大日本武徳会の創立を転機として復興への曙光を見出し、次第に発展への途を歩み、昭和初期から10年代にかけて最盛期を迎えた。昭和4（1929）年には天皇の御即位の大礼を祝って天覧武道大会が催され、同9年には皇太子殿下御誕生奉祝天覧武道大会、同15年には紀元2600年奉祝天覧武道大会と前後3回にわたって全国から精鋭をすぐって大規模な優勝試合が行われた。この頃は日本の国勢が目覚ましい伸張とあいまって剣道の隆盛はその極に達した観があり、日本剣道史はじまって以来最も普及充実した時期であった。

しかるに第2次世界大戦の敗戦は、剣道界に潰滅的な打撃を与えた。日本占領の連合軍の施策の中にあって剣道は、手ひどい弾圧を受けた。学校教育としては全面的に禁止され、社会体育の場においても厳重な制限を受け、かつまた創立以来わが国武道界の総本山として武道の普及振興を一手に掌握してきた大日本武徳会は解散を命じられ、剣道界は全く火の消えたような状態となった。

昭和27（1952）年、わが国の独立が回復するとともに剣道復興の動きはにわかに活発となり、全国の剣道愛好者の熱烈な願いが実を結び、同年10月全日本剣道連盟が設立された。これによって長い空白時代を経て剣道は再び愛好者の手に戻り、剣道界再出発への基礎が確立された。

全日本剣道連盟は発足とともに剣道界再建のために活発な活動を開始した。すなわち新しい出発に際し、審判規則ならびに称号段位制度の制定や、諸制度の整備を行い、事業面では翌28年から京都武徳殿における剣道演武大会の復活をはじめ全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本東西対抗剣道大会の三大会を主催するまでになった。さらに居合道、杖道大会をも加え、国民体育大会には30年から正式種目として参加し、そのほか大学、高校、中学、少年錬成大会など共同主催8大会と後援30以上の大会をと広い分野にわたって剣道の普及振興に努めている現況である。

第一に剣道の国際的発展である——日本独特の剣道の世界的普及——しかも海外の剣道愛好者は単に剣道の技術の習得だけではなくむしろ剣道の真のよき、いわば剣道の心にひかれて剣道を行っている点に大きな特色がある。昭和45（1970）年国際剣道連盟が結成され、現在では59か国・地域が加盟し約100か国で活動している。国際剣道連盟結成と同時に第1回世界剣道選手権大会が開催された。また海外の愛好者が毎

年来日して研修に努めており、全剣連ではこれらの人びとのために毎年、夏期講習会を日本で開催しているほか、海外各国に指導者を派遣して指導と交流に努めている。平成18年には国際競技団体連合（GAISF）にKendoとして加盟し、略称をIKFからFIKに改称した。

次に剣道界への女性の目覚ましい進出である。従来は男子は剣道、女子は薙刀というのが常識であったが、戦後女性の剣道界への進出は実に目を見張らせるばかりである。現在は下は小、中学生から上は高校、大学生、あるいは社会人に至るまで、その進出は著しく、令和2年度の剣道初段合格者22,970名のうち8,688名が女性であるという事実から見てもその進出振りがうかがえる。全剣連としては、昭和37年から全日本女子剣道選手権大会を開催している。また同時に学生界でも高体連は同38年から女子の参加を認め、全日本学生剣道連盟でも全日本女子学生剣道大会を男子の大会と併行開催している現状である。

第3の特色は少年剣道の目覚ましい隆盛である。戦後、特に昭和30年頃から剣道が隆盛になるにともなって少年の間に剣道熱が高まってきた。これは剣道のもつ特性が少年の人間形成に及ぼす影響に対する評価が認識されるにつれて、家庭におけるしつけの問題と関連して、道場に通わせて剣道を修めさせる家庭が多くなったのに起因するところが多いと思われる。これにともなって私設道場も各地に続々と設立され、毎年夏期に日本武道館において開催される少年剣道錬成大会には全国各地から父兄付き添いで数千名の少年剣士たちが参加し、錬成に励む姿はまさに熱気を帯びている有様である。この少年剣道の隆盛にともなって、近年の社会的特徴である家庭婦人にも剣道愛好者が増加した。その家庭婦人に剣道精進の励みを与えるとともに、生涯剣道の目標を与え、併せて青少年の健全育成に資するために昭和59年に第1回の全国家庭婦人剣道大会が開催され、平成20年第25回まで実施した。以後、家庭婦人のみならず、広く女子剣道人の大会として、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会とあらため、開催されている。

このように現在の剣道は剣道人口の底辺の拡大、国際的発展、女性も含めて青少年層への目覚ましい普及などに見られるように日本民族の輝かしい文化的所産として正しく認識され、確実な発展を歩み続けている。

あいさつ

公益財団法人全日本剣道連盟

会長 稲川 泰弘



菊花薫る文化の日、3年振りに日本武道館において、第69回全日本剣道選手権大会を全国各都道府県での予選を勝ち抜いた精鋭を迎え開催できますことは、誠に喜びにたえません。

本日を迎えることができましたことは、コロナ禍での大変な状況の中、各都道府県剣道連盟のご尽力によるものであり、予選会開催などを実施して頂き深く感謝申し上げます。

さて、私たちはこれからも「剣道の理念」に則った剣道の質の向上を図り、剣道の真髄を追及して普及発展に努める所存であります。また、剣道指導の心構えの浸透を図ることにより、正しい剣道の指導を実践し、人造りに貢献するとともに、日本の伝統に育まれた剣道を、後世に継承させなければならないと考えています。

コロナ禍で剣道界が経験した「大きな変化」は、稽古中の密を避ける方途として導入した「新しい審判法」で「事実上鏝競り合いを封じた」ことによって生じました。そこには相対する選手が「真正面から斬り合う」「緊張感あふれる立合い」の姿が現れ、その姿こそが「正しい剣道」として誰の目にも確認される結果となりました。今後も、剣道の一層の普及発展を図るための諸施策を推進し、広く青少年の健全育成に寄与していく所存であります。

本大会に出場される64名の選手は、各都道府県を代表とする選手です。選手諸君は、郷土の榮譽を担い、多年にわたり錬磨された実力を大会の場において遺憾なく発揮されるよう切望いたします。そして、全国の剣道愛好者、海外で注目している剣道関係者、さらに将来、この全日本剣道選手権大会の出場・活躍を目標とする少年剣士たちへ、良き模範を示して頂くことをお願いいたします。

出場選手の郷土においては、災害・震災に遭われた地域もあります。無観客での開催となりますが、代表剣士諸君には、日本を元気づけるような試合を展開して頂きたいと思っております。

終わりに本大会の開催にあたり、ご後援を頂いたスポーツ庁・公益財団法人日本武道館・読売新聞社、主管団体として運営にご尽力を頂いた一般財団法人東京都剣道連盟、並びに関係各位に深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶と致します。

祝 辞

文部科学大臣 萩生田 光一



第69回全日本剣道選手権大会が、本日ここに開催されますことを心からお祝い申し上げます。

剣道は、我が国の長い歴史と伝統に培われた世界に誇る武道の一つであり、日々の稽古を通して心身を鍛錬するとともに、相手の人格を尊重し、礼法を重んじる態度の育成を図るなど、豊かな人間形成に寄与するものです。

今日、剣道が国内外において幅広い年齢層の人々から親しまれ、広く普及・発展しておりますことは、誠に喜ばしいことです。

本大会は、各都道府県より選出された剣士が一堂に会する国内最高峰の大会です。選手の皆様には、日頃の修錬の成果を存分に発揮されまるとともに、大会を通じて全国の剣道を愛好する仲間と「交剣知愛」の輪を広げられ、本大会が心に残るすばらしい大会となることを願っております。

さて、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、様々なスポーツ活動に大きな影響を与えておりますが、文部科学省としてはアスリートや子供たちの活動の機会を守り、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。引き続き、皆様からの御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力された公益財団法人全日本剣道連盟をはじめ、関係の皆様に対し深く敬意を表するとともに、本大会の成功と剣道のますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和3年9月30日現在

大会役員（順不同）

大会会長	稲川泰弘				
大会副会長	網代忠宏	真砂 威	神谷明文	千葉胤道	
大会特別顧問	山口寿一	高村正彦	前田晃伸	萩生田光一	(9月30日現在)
大会顧問	伊藤雅俊	山下泰裕	中村 格	大石吉彦	吉村秀男
	辻村和人	石谷 護	臼井日出男	太田健一郎	久保木 優
	伊藤元明	上田憲幸	奥島快男	児嶋 克	福本修二
	大嶽將文	小倉 昇	忍足 功	梯 正治	小坂達明
	椎屋光男	島野泰山	末平佑二	鈴木康生	中田琇士
	藤井 稔	宮川英俊	三宅一志	目黒大作	宮坂昌之
	宮坂信之				
大会参与	室伏広治	大賀真一	池田克史	岩下 剛	塩谷裕一
	小山 孝	大澤芙由子	齋藤隆宏	吉川英夫	増田知幸
	安部美知雄	小笠原宏志	井上雅勝	長谷川弘一	小倉培夫
	白石正範	小林一隆	山中茂樹	小林英雄	渡邊宏一
	浅原行雄	南 信廣	牧田 稔	片山外一	加瀬浩明
	吉村 勝	堤 俊彦	岡田一義	中野正堂	伊吹文明
	長榮周作	吉田克法	世耕弘成	河野修一郎	山本晋一郎
	林 正夫	中西 章	岸田 莘	高木弘伸	三原悦男
	俊野徹人	藤川和秋	青柳俊彦	江島良介	松尾博行
	安部正定	尾方正照	橋口光博	俣木正喜	親川光俊
	植村裕之	塚本素晴	中本和洋	下村博文	土崎祐一郎
	三田村 裕	林 直人	沖山栄一		
	中谷行道				
大会委員長	藤原崇郎	香田郡秀	安部壽和		
大会副委員長	上浦かなえ	軽米満世	佐藤厚子	篠原政美	内藤常男
大会委員	長尾 進	濱崎 満	舟木 隆	蒔田 実	水田重則
	青山彩子	岡嶋 恒	加藤 治	栗崎敬一	榊 寿一
	寫末秀一	下川祐造	相馬建男	奈良 隆	濱口雅行
	山村勝弘	吉田博光	脇本幸彦	渡邊三則	安保洋子
	小風 明	吉田篤生	大高ラビンニユ	大矢 稔	亀井 徹
	百鬼史訓	浪岡大介	林 達雄	西川清紀	吉岡成子
	右田重昭	原嶋茂樹	寺地賢二郎		

競技役員割当表 (順不同)

実行委員長	藤原 崇郎				
実行委員	青木 孝	高澤 彰	猪狩保光	松原 徹	小林晋一
	高橋 嶺	長濱直弥	斎藤 諒	鈴木徳之	新美俊太郎
	齋藤和哉	高森 毅	遠藤尚人	岩坂 守	野澤 豪
	矢野雅之	吉川彰一	澤飯功明	和栗諒人	伊藤 豊
	佐々木宏介	入江亮太			
(実行連絡員)	斎藤智英	藤原由崇			
(プロ結果記入員)	大瀬良圭介	藤原 彩			
受付係	千葉まりこ	松井由枝	鈴木淳子	高杉朋美	松浦千恵
	土屋美希	加古 恵	奥浦亜矢子	吉田真子	蓮見智世
(北口受付案内員)	菅 大二朗	飯田翔太	木島克己	小林柊弥	
(西口受付案内員)	岩瀬准哉	小口晴矢	金谷篤史	佐野太一	
(中道場棟案内員)	堀越丈司	若狭拳斗			
選手係	鎌田敏夫	山本博敏	関川慎治	伊藤祐樹	鈴木啓仁
	岩田 裕	塙 篤雄	青木健一	高野 裕	岡部英幸
	高橋 輝	河村文龍			
記録係	大橋章太郎	山口香里	佐藤 護	片岡紀久	
(記録連絡員)	大越一範	長谷川啓斗	藤本大地	三浦晃太郎	
	平井皓之	真野 匠			
時計係	川名賢充	五十嵐清裕	川尻敏夫	蓮沼俊二	七原 稔
	井上哲也				
掲示係	(筆)徳竹良男	近藤喜隆	河野繁夫	新井裕照	出井勝博
	足立至弘	宇都宮睦実	宮内和明	谷口 洋	近藤賢一
	井口義章	後藤理恵			
(掲示連絡員)	北島正貴	梅原大輝	喜多 巧	松井奏太	
放送係	榊 里美	佐藤利子			
(放送連絡員)	松田圭司	外山大地			
(NHK放送連絡員)	野中 翠	渡邊 龍			
写真係	寺門重光	平社清治			
コロナ対策係	西 聖仁	桑原則行	沓掛良司		
(コロナ対策補助員)	甲斐慈玄	貝塚脩悟	中澤知大	林 拓矢	的場大和
	百田尚史	山崎彬熙			
警備係	飯塚 清	小越和秋	石井洋光	嶋津清貴	飯島 尚
	加藤秀隆	星野幹男	櫻井和子	山西七菜子	佐藤穂貴
	伊藤茂一	加藤伸之	並木 孝	坂田岳史	横山博之
	平田大輔	藤井菜奈	西岡達朗	吉田育弘	時田剣成
	乙部竜輝	増田滉士			
接待係	石崎璃々	大森香乃子	古味美里	日吉美帆	田村萌恵
	西城るり香	尾張陽菜	長澤茉里耶		
救護係	野見山 延	小松智美			
筆耕係	古川茂一				

審判員

審判長	中田 琇士 剣道範士 	石田 健一 剣道範士 審判主任 	濱崎 満 剣道範士 	
剣道範士 亀井 徹 	剣道範士 笠村 浩二 	剣道範士 大城戸 功 	剣道範士 佐藤 桂生 	剣道範士 東 良美 
剣道範士 谷 勝彦 	剣道範士 松田 勇人 	剣道範士 下島貴代一 	剣道範士 船津 晋治 	剣道範士 右田 重昭 
剣道範士 栗田和市郎 	剣道範士 佐藤 勝信 	剣道教士 井島 章 	剣道教士 山崎 尚 	剣道教士 山中 洋介 
剣道教士 神崎 浩 	剣道教士 井上 孝 	剣道教士 齋藤 浩二 		

第 69 回 全日本剣道選手権大会 審判員割当表

審判長・中田 琇士 (東京)

第 1 試合場

- 主任・石田 健一 (大阪)
- 1 組 — 亀井 徹 (熊本)
 - 松田 勇人 (奈良)
 - 井上 孝 (香川)
 - 2 組 — 東 良美 (愛知)
 - 右田 重昭 (東京)
 - 山中 洋介 (鳥取)
 - 3 組 — 佐藤 桂生 (兵庫)
 - 船津 晋治 (大阪)
 - 齋藤 浩二 (宮城)

第 2 試合場

- 主任・濱崎 満 (東京)
- 1 組 — 谷 勝彦 (群馬)
 - 佐藤 勝信 (東京)
 - 神崎 浩 (大阪)
 - 2 組 — 笠村 浩二 (神奈川)
 - 下島 貴代一 (岐阜)
 - 山崎 尚 (愛知)
 - 3 組 — 大城戸 功 (愛媛)
 - 栗田 和市郎 (東京)
 - 井島 章 (千葉)

[備考] 1.1 回戦から 4 回戦までは、2 試合場で実施。準決勝戦より 1 試合場で実施。
2. () 内は、登録の都道府県剣道連盟。

第 69 回 全 日 本 剣 道

	段位	出場 回数	氏 名	選出県	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝	決
1	五段	③	土谷 有輝	(大 阪)	1					
2	四段	①	納谷 樹	(群 馬)	1	33				
3	錬六	③	地白 允大	(北 海 道)	2					
4	錬六	②	富松 資国	(福 岡)	2		49			
5	五段	③	白木恒二郎	(徳 島)	3					
6	五段	②	柴田 駿介	(山 口)	3	34				
7	五段	⑥	佐藤 弘隆	(千 葉)	4					
8	錬六	②	嘉陽 宗隆	(沖 縄)	4			57		
9	四段	①	鈴木 賢起	(兵 庫)	5					
10	錬六	⑥	勝見 洋介	(神 奈 川)	5	35				
11	五段	①	澁谷 樹	(山 形)	6					
12	錬六	④	寺島 光紀	(富 山)	6		50			
13	五段	①	矢野 貴之	(東 京)	7					
14	五段	①	石田 崇	(広 島)	7	36				
15	五段	①	阿部 剣征	(大 分)	8					
16	四段	①	山田 将也	(愛 知)	8					
17	四段	①	黒川 雄大	(長 崎)	9					61
18	五段	①	精松 慎治	(埼 玉)	9	37				
19	五段	①	高田 達	(青 森)	10					
20	五段	②	高 優司	(大 阪)	10		51			
21	錬六	⑥	尾池 智行	(岡 山)	11					
22	六段	①	菊池 竜平	(静 岡)	11	38				
23	五段	④	林田 匡平	(福 井)	12					
24	四段	②	白鳥 湧也	(千 葉)	12					
25	錬七	⑦	畠中 宏輔	(東 京)	13			58		
26	四段	①	牧島凜太郎	(福 岡)	13	39				
27	五段	②	合屋 龍	(京 都)	14					
28	四段	②	杉田龍太郎	(岐 阜)	14		52			
29	五段	⑥	菅野 隆介	(岩 手)	15					
30	四段	①	中村 文哉	(石 川)	15	40				
31	五段	①	佐々木陽一朗	(茨 城)	16					
32	五段	①	村上 哲彦	(愛 媛)	16					

選手権大会組合せ

勝	準決勝	4回戦	3回戦	2回戦	1回戦	段位	出場	氏名	選出県
					33	五段	⑥	國友錬太郎	(福岡)
				41	17	錬六	②	村山 仁	(神奈川)
					34	錬六	②	吉田真佐義	(和歌山)
			53		18	三段	初	西原 地洋	(高知)
					35	錬六	初	金森 康臣	(秋田)
				42	19	三段	②	長田 悠樹	(静岡)
					36	三段	初	宮本 敬太	(東京)
					37	錬六	初	中本 孝則	(奈良)
					38	錬六	初	矢口二三也	(茨城)
				43	21	五段	初	青木 大晟	(島根)
					39	五段	④	大平 翔士	(栃木)
					40	錬六	②	三田 大輔	(福島)
			54		22	錬六	②	永山 貴大	(佐賀)
					41	六段	初	矢野 博之	(長野)
				44	23	五段	②	泉 英太	(埼玉)
					42	四段	初	草野龍二郎	(大阪)
					43	五段	初	加藤 竜成	(鳥取)
				45	25	三段	初	星子 啓太	(鹿児島)
					44	四段	②	山本 大喜	(千葉)
					45	五段	③	久田松雄一郎	(愛知)
			55		26	四段	②	竹ノ内佑也	(東京)
					46	五段	④	阿部 壮己	(兵庫)
				46	27	四段	初	今村 侑資	(熊本)
					47	五段	②	武田 直大	(宮城)
					48	六段	⑤	三雲 悠佑	(滋賀)
					49	六段	⑤	松本 和明	(香川)
				47	29	五段	⑤	足立 柳次	(埼玉)
					50	錬六	③	安藤 翔	(北海道)
					51	五段	⑤	吉田 新	(新潟)
			56		30	五段	⑨	木島 飛翼	(宮崎)
					52	五段	初	和田 優人	(三重)
				48	31	三段	②	平子 湧也	(山梨)
					53	三段	②		
					54	四段	初		
					55	五段	初		
					56	六段	⑤		
					57	五段	⑤		
					58	五段	⑤		
					59	五段	⑤		
					60	五段	⑨		
					61	五段	初		
					62	三段	初		
					63	三段	②		
					64	四段	初		
					62	六段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		
					62	五段	⑤		
					63	五段	⑤		
					64	四段	初		

1	2	3	4	5	6	7	8
							
大阪府代表 つち たに ゆう き 土谷有輝 (29歳)	群馬県代表 な や たつき 納谷 樹 (26歳)	北海道代表 ち しろ みつひろ 地白允大 (34歳)	福岡県代表 とみ まつ もとくに 富松資国 (34歳)	徳島県代表 し ら き こうじろう 白木恒二郎 (28歳)	山口県代表 しば た しゅんすけ 柴田駿介 (31歳)	千葉県代表 さ とう ひろ たか 佐藤弘隆 (28歳)	沖縄県代表 か よう むね たか 嘉陽宗隆 (33歳)
1. 五段	1. 四段	1. 錬士六段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 五段	1. 五段	1. 錬士六段
2. 警察官 (大阪府警第一機動隊)	2. 会社員 (A.I.Cアスカ)	2. 警察官 (北海道警機動隊)	2. 警察官 (福岡警第一機動隊)	2. 教員 (徳島県立川島高)	2. 警察官 (山口県警機動隊)	2. 警察官 (千葉県警第一機動隊)	2. 警察官 (沖縄県警機動隊)
3. 国士舘大卒	3. 国士舘大卒	3. 国士舘大卒	3. 専修大卒	3. 国士舘大卒	3. 日本大卒	3. 筑波大卒	3. 鹿屋体育大卒
4. 石川県出身	4. 群馬県出身	4. 北海道出身	4. 福岡県出身	4. 徳島県出身	4. 福岡県出身	4. 千葉県出身	4. 沖縄県出身
5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県対抗大 会3位 ●全国警察官大会 団体優勝4回・個 人優勝3位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 出場 ●国体出場	5. ●選手権大会3回 目出場3位 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国警察官大会 団体3位	5. ●選手権大会2回 目出場 ●全国警察官大会 団体二部優勝2 回2位1回3位1回	5. ●選手権大会3回 目出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全日本学生大会 団体2位・個人出 場 ●国体出場	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国警察官大会 団体二部優勝・ 個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会6回目出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国警察官大会個人2位 ●全日本学生大会 団体優勝 ●全国高校大会優勝 ●全国高校選抜大会優勝 ●国体優勝	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国警察官大会 団体三部2位・個 人出場 ●国体出場

9	10	11	12	13	14	15	16
							
兵庫県代表 すず き けん き 鈴木賢起 (22歳)	神奈川県代表 かつ み ようすけ 勝見洋介 (35歳)	山形県代表 しば や いつき 澁谷 樹 (26歳)	富山県代表 て ら し ま こう き 寺島光紀 (33歳)	東京都代表 や の たか ゆき 矢野貴之 (25歳)	広島県代表 い し だ たかし 石田 崇 (26歳)	大分県代表 あ べ けん せい 阿部剣征 (29歳)	愛知県代表 や ま だ ま さ や 山田将也 (24歳)
1. 四段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 五段	1. 五段	1. 四段
2. 会社員 (グローリー株)	2. 警察官 (神奈川県警伊勢佐木警察署)	2. 刑務官 (山形刑務所)	2. 教員 (富山県立高岡工芸高)	2. 警察官 (警視庁特科車両隊)	2. 教員 (明誠学院高)	2. 大学職員 (別府大)	2. 会社員 (株NTTコム)
3. 鹿屋体育大卒	3. 鹿屋体育大卒	3. 国学院大卒	3. 筑波大卒	3. 国士舘大卒	3. 大阪体育大卒	3. 筑波大卒	3. 明治大卒
4. 兵庫県出身	4. 岡山県出身	4. 秋田県出身	4. 富山県出身	4. 東京都出身	4. 広島県出身	4. 大分県出身	4. 愛知県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会 団体・個人出場	5. ●選手権大会6回 目出場第64回大 会優勝2位1回 ●世界大会団体優勝2回 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国警察官大会 団体優勝 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国矯正職員大 会出場	5. ●選手権大会4回 目出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 個人優勝・3位 ●全日本学生大会団 体2位・個人3位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会 個人優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全日本学生大会 団体優勝・個人 出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会3位 ●全日本学生大会 団体優勝2回 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会3位 ●全日本実業団大 会優勝 ●全日本学生大会 団体3位 ●全国高校大会団 体2位3位

17	18	19	20	21	22	23	24
							
長崎県代表 くろかわ ゆう だい 黒川雄大 (20歳)	埼玉県代表 あべまつ しん じ 精松慎治 (28歳)	青森県代表 たか だ いたる 高田 達 (29歳)	大阪府代表 こう ゆう じ 高 優司 (31歳)	岡山県代表 お い け と も ゆ き 尾池智行 (39歳)	静岡県代表 きく ち り ゆ う へ い 菊池竜平 (33歳)	福井県代表 はやし だ き よ う へ い 林田匡平 (27歳)	千葉県代表 しら と り ゆ う や 白鳥湧也 (23歳)
1. 四段	1. 五段	1. 五段	1. 五段	1. 錬士六段	1. 六段	1. 五段	1. 四段
2. 学生 (筑波大3年)	2. 警察官 (埼玉県警機動隊)	2. 刑務官 (青森刑務所)	2. 会社員 (パナソニック(株))	2. 刑務官 (岡山刑務所)	2. 教員 (静岡県立池新田高)	2. 教員 (福井県立丸岡高)	2. 教員 (東海大付属浦安高)
3.	3. 鹿屋体育大卒	3. 青森大卒	3. 中央大卒	3. 青山学院大卒	3. 中京大卒	3. 筑波大卒	3. 筑波大卒
4. 福岡県出身	4. 埼玉県出身	4. 北海道出身	4. 大阪府出身	4. 岡山県出身	4. 静岡県出身	4. 長崎県出身	4. 千葉県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体2位 ●全国高校選抜大会2位	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国警察官大会団体出場・個人3位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県対抗大会3位2回 ●全日本実業団大会優勝2回2位2回 ●全日本学生大会団体2位	5. ●選手権大会6回目出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国矯正職員大会個人優勝 ●全国高校大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会3位 ●全国教職員大会個人3位	5. ●選手権大会4回目出場3位2回 ●全日本学生大会団体優勝2回・個人優勝 ●全国教職員大会個人優勝2回 ●国体3位	5. ●選手権大会2回目出場 ●全日本学生大会団体2位・個人3位

25	26	27	28	29	30	31	32
							
東京都代表 はたけ なか こう すけ 畠中宏輔 (34歳)	福岡県代表 まきしま りん た ろ う 牧島凜太郎 (25歳)	京都府代表 ごう や り ょ う 合屋 龍 (29歳)	岐阜県代表 すぎ た り ゆ う た ろ う 杉田龍太郎 (22歳)	岩手県代表 かん の り ょ う す け 菅野隆介 (29歳)	石川県代表 なか む ら ふ み や 中村文哉 (22歳)	茨城県代表 さ さ き よ う い ち ろ う 佐々木陽一郎 (26歳)	愛媛県代表 む ら か み て つ ひ こ 村上哲彦 (29歳)
1. 錬士七段	1. 四段	1. 五段	1. 四段	1. 五段	1. 四段	1. 五段	1. 五段
2. 警察官 (警視庁第二機動隊)	2. 警察官 (福岡県警第一機動隊)	2. 警察官 (京都府警機動隊)	2. 学生 (鹿屋体育大4年)	2. 教員 (岩手県立福岡高)	2. 自営業	2. 教員 (筑波大)	2. 警察官 (愛媛県警機動隊)
3. 国士舘大卒	3. 鹿屋体育大卒	3. 鹿屋体育大卒	3.	3. 国士舘大卒	3. 東海大卒	3. 筑波大大学院卒	3. 松山大卒
4. 三重県出身	4. 長崎県出身	4. 福岡県出身	4. 岐阜県出身	4. 宮城県出身	4. 三重県出身	4. 東京都出身	4. 愛媛県出身
5. ●選手権大会7回目出場3位 ●世界大会出場 ●都道府県対抗大会優勝 ●全国警察官大会団体優勝・個人優勝 ●国体3位	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体優勝・個人3位 ●国体優勝	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国警察官大会団体二部優勝・個人出場 ●国体3位	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国高校大会団体・個人出場 ●全国高校選抜大会2位 ●国体出場	5. ●選手権大会6回目出場 ●全国教職員大会個人3位2回 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会優勝 ●全日本学生大会団体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会優勝 ●全日本学生大会団体優勝 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●国体優勝

33	34	35	36	37	38	39	40
							
福岡県代表 くにともれん たろう 國友 錬太郎 (31歳)	神奈川県代表 むらやま ひとし 村山 仁 (32歳)	和歌山県代表 よしだ まさよし 吉田 真佐義 (36歳)	高知県代表 にしほら ちひろ 西原 地洋 (22歳)	秋田県代表 かなもり やすたか 金森 康臣 (38歳)	静岡県代表 おさだ ゆうき 長田 悠樹 (22歳)	東京都代表 みやもと けいた 宮本 敬太 (26歳)	奈良県代表 なかもと たかのり 中本 孝則 (34歳)
1. 五段	1. 錬士六段	1. 錬士六段	1. 三段	1. 錬士六段	1. 三段	1. 五段	1. 錬士六段
2. 警察官 (福岡県警第一機動隊)	2. 警察官 (神奈川県警青葉警察署)	2. 会社員 (トルエクスプレスジャパン株)	2. 学生 (高知大4年)	2. 教員 (秋田県立秋田南高)	2. 学生 (同志社大4年)	2. 警察官 (警視庁第三機動隊)	2. 教員 (奈良県立郡山高)
3. 国士舘大卒	3. 中央大卒	3. 鹿屋体育大卒	3.	3. 山形大卒	3.	3. 国士舘大卒	3. 筑波大学院卒
4. 福岡県出身	4. 山形県出身	4. 和歌山県出身	4. 福岡県出身	4. 秋田県出身	4. 静岡県出身	4. 茨城県出身	4. 奈良県出身
5. ●選手権大会6回 目出場第67回大 会優勝2位2回	5. ●選手権大会2回 目出場 ●全国警察官大会 個人出場	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県対抗大 会優勝 ●全日本実業団大 会3位2回 ●全日本学生大会 団体優勝 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会 団体・個人出場 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大 会出場	5. ●選手権大会初出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 個人3位 ●国体優勝	5. ●選手権大会2回 目出場 ●全日本学生大会 団体出場 ●全国高校大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会4回 目出場3位	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 個人2位 ●国体出場

41	42	43	44	45	46	47	48
							
茨城県代表 やぐち ふみや 矢口 二三也 (40歳)	島根県代表 あおき たいせい 青木 大晟 (25歳)	栃木県代表 おおひら しょうし 大平 翔士 (20歳)	福島県代表 みただい すけ 三田 大輔 (35歳)	佐賀県代表 なが やまたか ひろ 永山 貴大 (31歳)	長野県代表 やの ひろゆき 矢野 博之 (26歳)	埼玉県代表 いずみ えいた 泉 英太 (22歳)	大阪府代表 くさの りゅうじろう 草野 龍二郎 (26歳)
1. 錬士六段	1. 五段	1. 三段	1. 錬士六段	1. 六段	1. 五段	1. 四段	1. 五段
2. 刑務官 (東京拘置所)	2. 教員 (島根県立大田高)	2. 学生 (筑波大3年)	2. 教員 (福島県立福島西高)	2. 刑務官 (佐賀少年刑務所)	2. 教員 (文化学園長野高)	2. 学生 (順天堂大4年)	2. 警察官 (大阪府警第一機動隊)
3. 流通経済大卒	3. 鹿屋体育大卒	3.	3. 筑波大卒	3. 明治大卒	3. 国士舘大卒	3.	3. 鹿屋体育大卒
4. 佐賀県出身	4. 島根県出身	4. 東京都出身	4. 福島県出身	4. 佐賀県出身	4. 東京都出身	4. 埼玉県出身	4. 長崎県出身
5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会2位2回 ●全日本官公庁大 会団体優勝2回・ 個人優勝1回 ●全国矯正職員大 会団体優勝2回・ 個人優勝1回	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 出場 ●全国高校大会個 人出場	5. ●選手権大会2回 目出場 ●全国高校大会団 体3位・個人優勝 2位	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 団体3位・個人優 勝 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全日本学生大会 団体3位・個人出 場 ●国体優勝	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団 体3位	5. ●選手権大会初出場 ●全国警察官大会 団体優勝 ●国体出場

49	50	51	52	53	54	55	56
							
鳥取県代表 かとうりゅうせい 加藤竜成 (21歳)	鹿児島県代表 ほしこけいた 星子啓太 (23歳)	千葉県代表 やまもと だい き 山本大喜 (30歳)	愛知県代表 くだまつゆういちろう 久田松雄一郎 (26歳)	東京都代表 たけの うちゆうや 竹ノ内佑也 (28歳)	兵庫県代表 あべ せう き 阿部壮己 (20歳)	熊本県代表 いまむら ゆう すけ 今村侑資 (28歳)	宮城県代表 たけだ なお ひろ 武田直大 (30歳)
1. 三段	1. 四段	1. 五段	1. 四段	1. 五段	1. 四段	1. 五段	1. 六段
2. 学生 (広島大3年)	2. 無職	2. 警察官 (千葉県警第一機動隊)	2. 警察官 (愛知県警機動隊)	2. 警察官 (警視庁第九機動隊)	2. 学生 (筑波大3年)	2. 刑務官 (熊本刑務所)	2. 教員 (石巻北高)
3.	3. 筑波大卒	3. 国際武道大卒	3. 早稲田大卒	3. 筑波大卒	3.	3. 大阪体育大卒	3. 国士館大卒
4. 鳥取県出身	4. 鹿児島県出身	4. 奈良県出身	4. 愛知県出身	4. 宮崎県出身	4. 兵庫県出身	4. 熊本県出身	4. 宮城県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体出場2回・個人2位	5. ●選手権大会2回目出場3位 ●世界大会団体優勝 ●全日本学生大会団体優勝・個人優勝 ●全国高校大会団体優勝・個人優勝	5. ●選手権大会3回目出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全日本学生大会個人3位	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県対抗大会2位	5. ●選手権大会4回目出場第62回大会優勝 ●世界大会団体優勝2回・個人2位3位	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会2位 ●全国高校選抜大会出場	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国矯正職員大会優勝	5. ●選手権大会5回目出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会団体3位・個人3位 ●国体出場

57	58	59	60	61	62	63	64
							
滋賀県代表 みくも ゆう すけ 三雲悠佑 (32歳)	香川県代表 まつもと かず あき 松本和明 (35歳)	埼玉県代表 あだちりゅうじ 足立柳次 (30歳)	北海道代表 あん どう しょう 安藤 翔 (31歳)	新潟県代表 よしだ しん 吉田 新 (28歳)	宮崎県代表 きじまつばさ 木島飛翼 (21歳)	三重県代表 わだ ゆう と 和田優人 (22歳)	山梨県代表 ひら こ ゆう や 平子湧也 (22歳)
1. 六段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 五段	1. 五段	1. 三段	1. 三段	1. 四段
2. 会社員 (東レ株)	2. 警察官 (香川県警機動隊)	2. 警察官 (埼玉県警機動隊)	2. 警察官 (北海道警機動隊)	2. 教員 (新潟市立小針中)	2. 学生 (中央大3年)	2. 学生 (大阪体育大4年)	2. 学生 (国士館大4年)
3. 明治大卒	3. 高松桜井高卒	3. 筑波大卒	3. 国士館大卒	3. 東京学芸大大学院卒	3.	3.	3.
4. 大分県出身	4. 香川県出身	4. 鳥取県出身	4. 北海道出身	4. 新潟県出身	4. 宮崎県出身	4. 三重県出身	4. 山梨県出身
5. ●選手権大会5回目出場 ●都道府県対抗大会優勝 ●全日本実業団大会出場 ●全日本学生大会団体3位・個人出場 ●全国高校大会団体優勝・個人出場 ●国体2位	5. ●選手権大会3回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国警察官大会団体一部3位二部2位 ●国体3位	5. ●選手権大会5回目出場 ●都道府県対抗大会優勝 ●全国警察官大会個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会9回目出場3位2回 ●世界大会団体優勝2回・個人優勝 ●都道府県対抗大会優勝 ●全国警察官大会団体3位・個人優勝 ●国体3位	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体出場 ●全国高校大会個人出場 ●全国高校選抜大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国高校選抜大会出場 ●国体2位	5. ●選手権大会2回目出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●国体出場

公開演武者の紹介

〔日本剣道形〕



日本剣道形は、大正元年、各流派の優れた技をもとに制定されたもので、太刀の形7本、小太刀の形3本、計10本より成り立っております。最も理にかなった、刀の操作法が組み込まれており、剣道の神髄を追求し、技の理合を極めた剣道修練の基本となるものです。

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

全日本剣道選手権大会入賞者一覧

第1回大会 (昭和28年11月8日、蔵前国技館) 優勝 榑原 正 (愛知、錬士、33) 第2位 阿部 三郎 (東京、教士、34) 第3位 鈴木 守治 (愛知、錬士、32) 第4位 植田 一 (香川、教士、40)	第2回大会 (昭和29年10月10日、東京両国メモリアルホール) 優勝 小西雄一郎 (福岡、錬士、32) 第2位 中尾 巖 (兵庫、教士、38) 第3位 中倉 清 (鹿児島、教士、44) 第4位 阿部 三郎 (東京、教士、34)
第3回大会 (昭和30年11月20日、東京両国国際スタジアム) 優勝 中村 太郎 (神奈川、教士、33) 第2位 植田 一 (香川、教士、42) 第3位 長島 末吉 (東京、教士、30) 第4位 田島 善人 (佐賀、教士、34)	第4回大会 (昭和31年11月18日、東京体育館) 優勝 浅川 春男 (岐阜、教士、37) 第2位 中村 太郎 (神奈川、教士、34) 第3位 阿部 三郎 (東京、教士、37) 第4位 嶽崎 操 (福岡、錬士、38)
第5回大会 (昭和32年11月17日、東京体育館) 優勝 森田 信尊 (長崎、教士六段、39) 第2位 松尾 廉二 (広島、教士六段、41) 第3位 阿部 三郎 (東京、教士七段、38) 第4位 園田 政治 (大阪、錬士六段、30)	第6回大会 (昭和33年11月9日、東京体育館) 優勝 鈴木 守治 (愛知、教士六段、37) 第2位 中村 太郎 (神奈川、教士七段、36) 第3位 矢野 太郎 (兵庫、教士六段、35) 第4位 伊保 清次 (東京、教士六段、38)
第7回大会 (昭和34年11月29日、東京体育館) 優勝 中村 太郎 (神奈川、教士七段、37) 第2位 大浦 芳彦 (福岡、教士七段、34) 第3位 津脇 良夫 (山口、教士六段、38) 第4位 園田 政治 (大阪、教士六段、32)	第8回大会 (昭和35年11月27日、東京体育館) 優勝 桑原 哲明 (宮崎、五段、21) 第2位 浦本 徹誠 (大阪、教士七段、35) 第3位 大浦 芳彦 (福岡、教士七段、35) 第3位 蓮井 肇 (兵庫、教士七段、43)
第9回大会 (昭和36年12月3日、東京体育館) 優勝 伊保 清次 (東京、教士七段、41) 第2位 小沼 宏至 (東京、教士七段、34) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、22) 第3位 谷口 安則 (福岡、教士七段、40)	第10回大会 (昭和37年12月2日、東京体育館) 優勝 戸田 忠男 (滋賀、五段、23) 第2位 片山 峯男 (熊本、教士七段、44) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士六段、31) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、23)
第11回大会 (昭和38年12月1日、東京体育館) 優勝 矢野 太郎 (兵庫、教士七段、40) 第2位 戸田 忠男 (滋賀、五段、24) 第3位 穂山 嘉昭 (佐賀、五段、21) 第3位 小林 三留 (大阪、五段、26)	第12回大会 (昭和39年11月29日、日本武道館) 優勝 戸田 忠男 (滋賀、五段、25) 第2位 西山 泰弘 (東京、錬士六段、28) 第3位 中村 毅 (東京、五段、23) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、25)
第13回大会 (昭和40年12月5日、日本武道館) 優勝 西山 泰弘 (東京、錬士六段、29) 第2位 恵土 孝吉 (愛知、六段、26) 第3位 有馬 光男 (大阪、五段、22) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士七段、34)	第14回大会 (昭和41年12月4日、日本武道館) 優勝 千葉 仁 (東京、五段、22) 第2位 村瀬 隆平 (岐阜、五段、26) 第3位 田中 信義 (島根、七段、43) 第3位 西出 功 (京都、五段、26)
第15回大会 (昭和42年12月3日、日本武道館) 優勝 堀田 国弘 (兵庫、教士七段、41) 第2位 千葉 仁 (東京、五段、23) 第3位 嶽下 武紀 (熊本、五段、22) 第3位 白藤 一郎 (大阪、五段、22)	第16回大会 (昭和43年12月1日、日本武道館) 優勝 山崎 正平 (新潟、教士七段、45) 第2位 戸田 忠男 (東京、錬士五段、29) 第3位 野沢 治雄 (埼玉、錬士七段、30) 第3位 松葉 忠文 (岐阜、五段、25)

第17回大会 (昭和44年12月7日、日本武道館) 優勝 千葉 仁 (東京、錬士六段、25) 第2位 矢野 洋二 (愛媛、五段、23) 第3位 有馬 光男 (大阪、錬士六段、26) 第3位 藤田 長久 (岡山、五段、25)	第18回大会 (昭和45年12月6日、日本武道館) 優勝 中村 毅 (東京、錬士六段、29) 第2位 千葉 仁 (東京、錬士六段、26) 第3位 木村 謙竜 (和歌山、五段、23) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士七段、39)
第19回大会 (昭和46年12月5日、日本武道館) 優勝 川添 哲夫 (東京、四段、21) 第2位 佐山 春夫 (栃木、五段、23) 第3位 川井 光男 (東京、錬士六段、26) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士七段、40)	第20回大会 (昭和47年12月3日、日本武道館) 優勝 千葉 仁 (東京、錬士六段、28) 第2位 川添 哲夫 (東京、四段、22) 第3位 有馬 光男 (大阪、錬士六段、29) 第3位 山田 博徳 (熊本、五段、24)
第21回大会 (昭和48年12月2日、日本武道館) 優勝 山田 博徳 (熊本、錬士五段、25) 第2位 有馬 光男 (大阪、錬士六段、30) 第3位 稲吉 正道 (愛知、錬士五段、25) 第3位 川添 哲夫 (高知、四段、23)	第22回大会 (昭和49年12月8日、日本武道館) 優勝 横尾 英治 (和歌山、五段、24) 第2位 稲吉 正道 (愛知、錬士五段、26) 第3位 野崎 義昭 (愛知、五段、26) 第3位 明石 和巳 (岩手、五段、27)
第23回大会 (昭和50年12月7日、日本武道館) 優勝 川添 哲夫 (高知、五段、25) 第2位 宮澤 保信 (宮城、四段、23) 第3位 明石 和巳 (岩手、錬士五段、28) 第3位 横尾 英治 (和歌山、五段、25)	第24回大会 (昭和51年12月5日、日本武道館) 優勝 右田幸次郎 (熊本、四段、23) 第2位 佐山 春夫 (栃木、錬士六段、28) 第3位 横尾 英治 (和歌山、五段、26) 第3位 川添 哲夫 (高知、五段、26)
第25回大会 (昭和52年12月11日、日本武道館) 優勝 小川 功 (大阪、教士七段、34) 第2位 末野 栄二 (鹿児島、錬士六段、28) 第3位 右田幸次郎 (熊本、四段、24) 第3位 梯 正治 (東京、錬士六段、30)	第26回大会 (昭和53年12月10日、日本武道館) 優勝 石橋 正久 (福岡、五段、27) 第2位 西川 清紀 (東京、四段、23) 第3位 香田 郡秀 (茨城、四段、21) 第3位 山田 博徳 (熊本、錬士六段、30)
第27回大会 (昭和54年12月9日、日本武道館) 優勝 末野 栄二 (鹿児島、錬士六段、30) 第2位 古川 和男 (北海道、五段、25) 第3位 山田 博徳 (熊本、錬士七段、31) 第3位 川添 哲夫 (高知、五段、29)	第28回大会 (昭和55年12月7日、日本武道館) 優勝 外山 光利 (宮崎、五段、26) 第2位 山田 博徳 (熊本、教士七段、32) 第3位 西川 清紀 (東京、五段、25) 第3位 渡辺 三則 (高知、錬士六段、33)
第29回大会 (昭和56年12月6日、日本武道館) 優勝 中田 琇士 (東京、教士六段、34) 第2位 小坂 達明 (大阪、錬士七段、33) 第3位 石塚 美文 (大阪、錬士六段、30) 第3位 松田 勇人 (奈良、五段、24)	第30回大会 (昭和57年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 健一 (大阪、錬士六段、33) 第2位 小坂 達明 (大阪、教士七段、34) 第3位 三宅 一 (神奈川、錬士六段、32) 第3位 氏家 道男 (東京、錬士六段、30)
第31回大会 (昭和58年11月3日、日本武道館) 優勝 東 一良 (愛知、錬士六段、33) 第2位 北村 浩二 (熊本、錬士六段、31) 第3位 大久保和彦 (神奈川、錬士六段、32) 第3位 福多 雅英 (徳島、四段、24)	第32回大会 (昭和59年11月3日、日本武道館) 優勝 原田 哲夫 (京都、錬士六段、31) 第2位 加治屋速人 (埼玉、錬士六段、30) 第3位 安田 水紀 (埼玉、錬士六段、35) 第3位 下島貴代一 (岐阜、錬士六段、30)

第33回大会 (昭和60年11月3日、日本武道館) 優勝 石塚 美文 (大阪、錬士六段、34) 第2位 近藤 亘 (徳島、錬士六段、30) 第3位 西川 清紀 (東京、錬士六段、30) 第3位 北村 浩二 (熊本、錬士六段、33)	第34回大会 (昭和61年11月3日、日本武道館) 優勝 岩堀 透 (大阪、教士七段、34) 第2位 亀井 徹 (熊本、錬士六段、32) 第3位 石塚 美文 (大阪、教士六段、35) 第3位 柏木 雄二 (鹿児島、錬士六段、33)
第35回大会 (昭和62年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、錬士六段、32) 第2位 東 一良 (愛知、教士六段、37) 第3位 大城戸 功 (愛媛、錬士六段、32) 第3位 加治屋速人 (埼玉、錬士六段、33)	第36回大会 (昭和63年11月3日、日本武道館) 優勝 林 朗 (北海道、錬士六段、30) 第2位 大澤 規男 (埼玉、錬士六段、28) 第3位 西川 清紀 (東京、錬士六段、33) 第3位 福井 悦郎 (広島、錬士六段、33)
第37回大会 (平成元年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、錬士七段、34) 第2位 伊藤 次男 (神奈川、錬士六段、32) 第3位 栗田和市郎 (東京、錬士六段、33) 第3位 大澤 規男 (埼玉、錬士六段、29)	第38回大会 (平成2年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、六段、27) 第2位 白川 雅博 (東京、錬士六段、35) 第3位 進藤 正広 (秋田、錬士六段、33) 第3位 前原 正作 (鹿児島、錬士六段、36)
第39回大会 (平成3年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士六段、28) 第2位 栄花 英幸 (北海道、五段、27) 第3位 石田 利也 (大阪、錬士六段、30) 第3位 田島 稔 (東京、錬士六段、29)	第40回大会 (平成4年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 利也 (大阪、錬士六段、31) 第2位 石田 洋二 (大阪、五段、27) 第3位 岡本 和明 (東京、五段、24) 第3位 高橋 英明 (京都、五段、27)
第41回大会 (平成5年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士六段、30) 第2位 宮崎 史裕 (神奈川、六段、28) 第3位 出崎 忠幸 (東京、六段、30) 第3位 山中 洋介 (鳥取、錬士七段、33)	第42回大会 (平成6年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、教士七段、39) 第2位 高橋 英明 (京都、錬士六段、29) 第3位 田島 稔 (東京、錬士六段、32) 第3位 岡本 和明 (東京、五段、26)
第43回大会 (平成7年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 利也 (大阪、教士七段、34) 第2位 高橋 英明 (京都、錬士六段、30) 第3位 大澤 規男 (埼玉、教士七段、35) 第3位 寺地賢二郎 (東京、錬士六段、32)	第44回大会 (平成8年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士七段、33) 第2位 原田 悟 (東京、四段、23) 第3位 宮崎 史裕 (神奈川、錬士六段、31) 第3位 栄花 英幸 (北海道、錬士六段、32)
第45回大会 (平成9年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 史裕 (神奈川、錬士六段、32) 第2位 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、34) 第3位 栄花 直輝 (北海道、六段、30) 第3位 栄花 英幸 (北海道、錬士六段、33)	第46回大会 (平成10年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、35) 第2位 江藤 善久 (大阪、錬士六段、32) 第3位 原田 悟 (東京、四段、25) 第3位 岩佐 英範 (東京、五段、28)
第47回大会 (平成11年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、36) 第2位 江藤 善久 (大阪、錬士六段、33) 第3位 石原 一幸 (群馬、錬士六段、33) 第3位 佐藤 充伸 (宮城、五段、25)	第48回大会 (平成12年11月3日、日本武道館) 優勝 栄花 直輝 (北海道、錬士六段、33) 第2位 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、37) 第3位 立花 義人 (福岡、四段、25) 第3位 原田 悟 (東京、五段、27)

第49回大会 (平成13年11月3日、日本武道館) 優勝 岩佐 英範 (東京、錬士六段、31) 第2位 佐藤 充伸 (宮城、五段、27) 第3位 佐藤 博光 (大阪、五段、28) 第3位 倉成 健治 (愛知、教士七段、39)	第50回大会 (平成14年11月2日・3日、日本武道館) 優勝 安藤 戒牛 (愛知、五段、29) 第2位 岩佐 英範 (東京、錬士六段、32) 第3位 小関 太郎 (東京、五段、26) 第3位 原田 悟 (東京、五段、29)
第51回大会 (平成15年11月3日、日本武道館) 優勝 近本 巧 (愛知、錬士六段、32) 第2位 安藤 戒牛 (愛知、五段、30) 第3位 深谷 仁 (東京、錬士六段、33) 第3位 田崎 智春 (福島、五段、29)	第52回大会 (平成16年11月3日、日本武道館) 優勝 鈴木 剛 (千葉、六段、32) 第2位 原田 悟 (東京、五段、31) 第3位 溝口 夏樹 (愛知、六段、31) 第3位 近本 巧 (愛知、錬士六段、33)
第53回大会 (平成17年11月3日、日本武道館) 優勝 原田 悟 (東京、六段、32) 第2位 内村 良一 (東京、四段、25) 第3位 北条 将臣 (神奈川、六段、31) 第3位 上園 修 (鹿児島、錬士六段、34)	第54回大会 (平成18年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、五段、26) 第2位 古澤 庸臣 (熊本、五段、28) 第3位 外山 浩規 (愛知、錬士六段、32) 第3位 高鍋 進 (神奈川、五段、30)
第55回大会 (平成19年11月3日、日本武道館) 優勝 寺本 将司 (大阪、六段、32) 第2位 高鍋 進 (神奈川、六段、31) 第3位 佐藤 博光 (大阪、錬士六段、34) 第3位 木和田大起 (大阪、五段、29)	第56回大会 (平成20年11月3日、日本武道館) 優勝 正代 賢司 (神奈川、五段、27) 第2位 若生 大輔 (北海道、六段、31) 第3位 有場 賢輔 (広島、五段、28) 第3位 米屋 勇一 (埼玉、六段、32)
第57回大会 (平成21年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、五段、29) 第2位 高橋 秀人 (東京、五段、29) 第3位 寺本 将司 (大阪、錬士六段、34) 第3位 高坂 雄介 (静岡、四段、29)	第58回大会 (平成22年11月3日、日本武道館) 優勝 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、34) 第2位 内村 良一 (東京、五段、30) 第3位 畠中 宏輔 (東京、五段、23) 第3位 古川 耕輔 (大阪、六段、31)
第59回大会 (平成23年11月3日、日本武道館) 優勝 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、35) 第2位 東永 幸浩 (埼玉、錬士六段、34) 第3位 岩下 智久 (千葉、錬士六段、33) 第3位 内村 良一 (東京、六段、31)	第60回大会 (平成24年11月3日、日本武道館) 優勝 木和田大起 (大阪、錬士六段、34) 第2位 内村 良一 (東京、錬士六段、32) 第3位 網代 忠勝 (兵庫、六段、32) 第3位 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、36)
第61回大会 (平成25年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、錬士六段、33) 第2位 小谷 明德 (千葉、五段、29) 第3位 正代 正博 (東京、五段、29) 第3位 安藤 翔 (北海道、四段、23)	第62回大会 (平成26年11月3日、日本武道館) 優勝 竹ノ内佑也 (福岡、四段、21) 第2位 國友錬太郎 (福岡、四段、24) 第3位 西村 英久 (熊本、五段、25) 第3位 畠中 宏輔 (東京、五段、27)
第63回大会 (平成27年11月3日、日本武道館) 優勝 西村 英久 (熊本、五段、26) 第2位 勝見 洋介 (神奈川、五段、29) 第3位 梅ヶ谷 翔 (福岡、三段、20) 第3位 竹下 洋平 (大分、五段、27)	第64回大会 (平成28年11月3日、日本武道館) 優勝 勝見 洋介 (神奈川、五段、30) 第2位 國友錬太郎 (福岡、五段、26) 第3位 地白 允大 (北海道、五段、29) 第3位 宮本 敬太 (茨城、四段、21)

第65回大会 （平成29年11月3日、日本武道館） 優勝 西村 英久（熊本、五段、28） 第2位 内村 良一（東京、錬士七段、37） 第3位 林田 匡平（福井、四段、23） 第3位 畠中 宏輔（東京、錬士六段、30）	第66回大会 （平成30年11月3日、日本武道館） 優勝 西村 英久（熊本、六段、29） 第2位 内村 良一（東京、錬士七段、38） 第3位 安藤 翔（北海道、五段、28） 第3位 竹下 洋平（大分、五段、30）
第67回大会 （令和元年11月3日、丸善インテックアリーナ大阪） 優勝 國友錬太郎（福岡、五段、29） 第2位 松崎賢士郎（茨城、四段、21） 第3位 前田 康喜（大阪、五段、26） 第3位 竹下 洋平（大分、六段、31）	第68回大会 （令和3年3月14日、ホワイトリング） 優勝 松崎賢士郎（茨城、四段、22） 第2位 村上 雷多（大阪、五段、31） 第3位 星子 啓太（鹿児島、四段、22） 第3位 林田 匡平（福井、五段、27）
第69回大会 （令和3年11月3日、日本武道館） 優勝 第2位 第3位 第3位	

メ 七

全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)

令和3年9月16日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3	日本武道館内	03(3211)5804・F(3211)5807
会長 稲川 泰弘	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14	靖国九段南ビル2階	03(3234)6271・F(3234)6007

地方代表団体	会長	〒	事務局所在地		電話・FAX
(一財)北海道剣道連盟	藤井 稔	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1	北海道立総合体育センター内	011(820)1662・1663・F(820)1662・1663
青森県	増田 知幸	030-0903	青森市栄町1-7-8		017(764)0340・F(764)0340
秋田県	目黒 大作	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10		018(838)1783・F(845)3255
山形県	安部美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28		023(625)4825・F(625)4826
岩手県	小笠原宏志	020-0122	盛岡市みたけ3-38-20	(一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220・F(645)2220
(一財)宮城県	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1		022(746)8461・F(746)8462
福島県	長谷川弘一	960-0102	福島市鎌田字町23	サラダハウスA101号	024(597)8218・F(597)8218
(一財)茨城県	小倉 培夫	310-0903	水戸市堀町1161-13		029(251)8811・F(255)6228
栃木県	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6	栃木県教育会館2階	028(624)4567・F(627)4001
群馬県	小林 一隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12		027(235)0870・F(235)0870
(公財)埼玉県	山中 茂樹	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5	浦和合同庁舎4階	048(834)8869・F(834)8879
(一財)東京都	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2		03(5405)2166・F(5405)3680
(一財)千葉県	忍足 功	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20		043(285)4331・F(285)4333
神奈川県	小林 英雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1	相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175・F(321)6176
山梨県	渡邊 宏一	409-3804	中央市井之口150-2		055(278)6162・F(278)6163
(一財)新潟県	浅原 行雄	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21	北陽ビル2階	025(384)4784・F(384)4794
(一財)石川県	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3	KSハイツ205号	076(253)0310・F(253)0341
(一財)富山県	牧田 稔	939-8076	富山市太郎丸2区77	伊勢税理士事務所内	076(492)4040・F(423)6087
(一財)福井県	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18	サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616・F(28)6616
(一財)長野県	加瀬 浩明	380-0844	長野市諏訪町503		026(237)8939・F(235)8266
(一社)静岡県	吉村 勝	420-0822	静岡市葵区宮前町355		054(263)5428・F(263)8367
(一財)愛知県	大嶽 將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22		052(481)0093・F(481)0095
岐阜県	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12	岐阜県水産会館611	058(274)1521・F(274)8949
三重県	岡田 一義	514-0007	津市大谷町152	大谷ハイム1-202号	059(226)5975・F(229)7407
(一財)滋賀県	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20	辻田ビル2階	077(514)3165・F(514)3178
(一財)京都府	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19		075(761)8288・F(761)8287
(公社)大阪府	長榮 周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1	若杉センタービル別館502号	06(6351)3345・F(6351)3346
(一財)奈良県	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14	不動ビル505号	0742(32)5008・F(32)5011
和歌山県	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2		073(432)7760・F(432)7759
(一財)兵庫県	河野修一郎	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8	虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145・F(802)5240
(一財)岡山県	山本晋一郎	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1		086(235)3255・F(235)3245
(一財)広島県	林 正夫	730-0014	広島市中区上幟町1-5		082(962)3076・F(962)3087
(一財)山口県	中西 章	753-0083	山口市後河原237-1	警察体育館別館内	083(932)5072・F(932)5073
鳥取県	岸田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216	瀧本ビル3階	0857(29)2668・F(29)2668
島根県	高木 弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1	鬼村純方	0852(27)6222・F(852)27)6222
香川県	三原 悦男	760-0033	高松市丸の内4-6	アラキビル2階南	087(880)4463・F(880)4467
(一社)愛媛県	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28	福泉ビル205号	089(941)9394・F(941)3013
高知県	渡邊 三則	780-0026	高知市秦南町1-5-12	恒石章彦方	088(871)5184・F(871)5184
徳島県	藤川 和秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6	栗本マンション106号	088(652)2337・F(652)2360
(公社)福岡県	青柳 俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1	福岡武道館内	092(712)1890・F(712)1891
佐賀県	江島 良介	849-0923	佐賀市日の出2-1-11	佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184・F(20)9888
(一財)長崎県	松尾 博行	850-0036	長崎市五島町5-34	トーカンマンション1-E	095(826)5220・F(826)5220
(一財)大分県	安部 正定	870-0820	大分市西大道1-1-76	第2ハルキコーポ101号	097(547)9980・F(547)9981
熊本県	尾方 正照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2	熊本武道館内	096(381)8998・F(381)8998
宮崎県	橋口 光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4		0985(62)3890・F(62)3893
鹿児島県	俣木 正喜	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20	県立武道館内	099(255)8778・F(255)8778
(一財)沖縄県	親川 光俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2	沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410・F(996)4616

全剣連発行の頒布物一覧

令和3年11月現在

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則(和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥400	55	3
杖道試合・審判規則	¥450	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書(英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説(英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説(英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領(英語版)	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
全剣連と剣道界 この十年の歩み	¥2,000	917	23
剣道和英辞典(第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本(改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q & A(第3版)	¥2,100	785	15
剣道医学救急ハンドブック(第3版)	¥500	97	4
剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル(第二刷)	¥300	90	3
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2
剣道用具の保守・管理(英語版)	¥400	69	3
居合道における日本刀及び模擬刀の取扱要領	¥400	106	2

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道学科審査の問題例と解答例(初段～五段)	¥500	175	3
剣道授業の展開(DVD付き)	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
木刀による剣道基本技稽古法DVD	¥3,600	92	15
居合DVD(英語版)	¥3,100	93	15
竹刀—剣道の発展を支えた竹刀の歩み—DVD	¥3,100	100	15
剣道人バッジ小ネジ	¥1,200	13	16
剣道人バッジ小タック	¥1,200	13	16
剣道人バッジ大タック	¥1,600	14	16
カフス・タイピン(真鍮バー)	¥6,100	66	30
FIKバッジ(ネジ・タック)	各¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1(先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2(ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 検査台(ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい(白・紺・黄・あずき)	各¥500	38	4
ぶししクリアファイル(5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししTシャツ エンジ(S、M、L、LL)	¥2,500	170	20
ぶししTシャツ 白(S、M、L、LL)	¥2,500	263	20
ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
ぶししラバーキーホルダー	¥600	19	5
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210

* 品物はすべて消費税込みとなります。
* 全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

(1)インターネットからのお申し込み…<https://zenkenren-shop.com>

(2)FAXでのお申し込み……心力舎企画株式会社 03-3451-6905 へFAXして下さい。

①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。

お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法(②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料(送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

①宅配便……送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便……(この場合、代金引換はご利用いただけません。)

全国一律、500円で、A4サイズ(厚さ20mmまで)の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。



心 技 体 MONTHLY MAGAZINE THE "BUDO" 人を育てる総合誌

月刊

武道

毎月28日発行
定価556円



教育・健康・教養を三本柱に、役に立つ「武道人間学」の情報を満載!

好評連載中

私の稽古法

各道の現役選手を中心に、自身の経験に基づいた稽古法、大会の心構え等を紹介する。7月号：栄花直輝氏執筆。

中学校武道の充実に向けて

— つまづきをどう克服したか

マンガ・武道のすすめ

漫画家 田代しんたろう

今月のニュース



第69回全日本剣道選手権大会は12月号に掲載予定! (写真は前回のもの)

各種武道大会の模様をニュースとしてお伝えします。剣道大会の記事も年間を通じて豊富に掲載!

最新刊 マンガ・日本武道風土記(上・下巻)

漫画家・別府大学客員教授 田代しんたろう 著



全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の史料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。遠くへ足を運ばない今、マンガの世界で日本各地を巡ってみては。

上巻 B5判・248頁・定価1,100円 / 下巻 B5判・248頁・定価1,100円

日本武道館発行の単行本

役に立つ少年剣道指導法
香川大学教授、医学博士、剣道教士八段 山神 眞一 著
現代の少年剣道が抱える様々な問題点に対して、長年教育現場で培った筆者の視点から解決の糸口を探っていく。
A5判・並製・256頁・DVD付・定価2,640円

写真と記事でたどる 武道の近代史
杉江正敏 著
月刊『武道』1999年1月号から2001年3月号までの27回連載をまとめた杉江正敏先生のライフワーク
B5判・182頁・定価1,100円

高め合う剣道
筑波大学名誉教授 佐藤 成明 著
教育剣道の実践者として長年の経験をもつ筆者が、古今の文献を手掛かりに日々の修練で大事な事柄を綴る。
四六判・上製・564頁・定価2,640円

刀剣の歴史と思想
筑波大学体育系教授 酒井 利信 著
日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、確かな史料を基に考察。そのオリジナリティを浮かび上がらせる。
四六判・上製・346頁・定価2,640円

剣の道 人の道
元全国高体連剣道部長 岡村 忠典 著
多くの師に善導され、剣道人・教育者として歩んだ著者の半生記。戦後剣道史としても読める良書。
四六判・上製・350頁・定価2,640円

剣道で学び得たもの
中京大学名誉教授 林 邦夫 著
競争から創造への剣道体験論。競技の剣道から自己実現の剣道へ。剣道を通して、学び得た経験をありのままに綴った意欲作。
四六判・上製・298頁・定価2,640円



編集・発行 公益財団法人 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

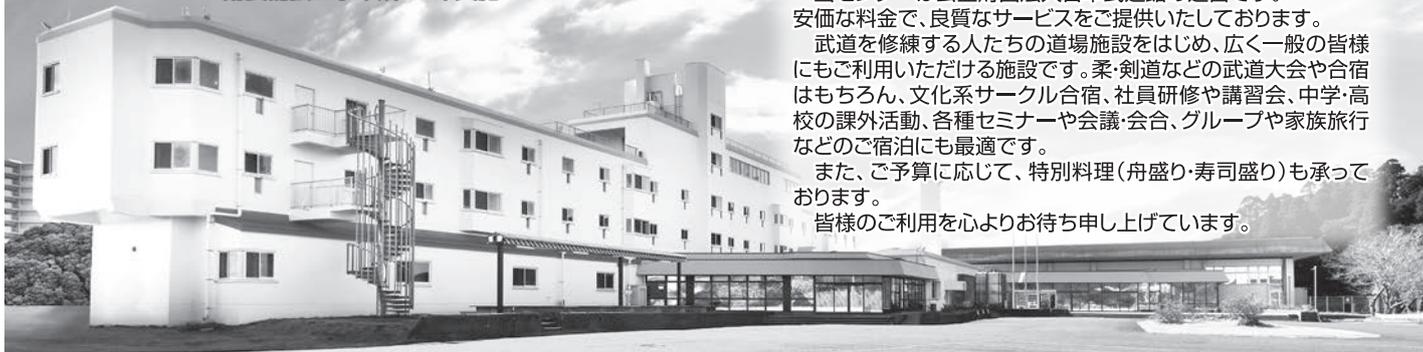
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

南房総かつうら NIPPON BUDOKAN TRAINING CENTER

日本武道館研修センター

耐震補強工事平成13年実施

当センターは公益財団法人日本武道館の運営です。
安価な料金で、良質なサービスをご提供いたしております。
武道を修練する人たちの道場施設をはじめ、広く一般の皆様にもご利用いただける施設です。柔・剣道などの武道大会や合宿はもちろん、文化系サークル合宿、社員研修や講習会、中学・高校の課外活動、各種セミナーや会議・会合、グループや家族旅行などのご宿泊にも最適です。
また、ご予算に応じて、特別料理(舟盛り・寿司盛り)も承っております。
皆様のご利用を心よりお待ちしております。



大道場…1000畳の広さ(分割使用可)冷暖房完備



弓道場…9人立ち、男女更衣室、冷暖房、男女トイレ完備



第1研修室…武道の稽古にも使用可



相撲道場…シャワー・トイレ完備



宿泊室A(和室・定員5人)10部屋



宿泊室B(洋室・定員7人)30部屋



ロビー



食堂 ビュッフェ形式で食べ放題! (夕食同一料金で屋外バーベキューに変更可)



宿泊料金

●武道を目的とした宿泊(1泊夕食・朝食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
大人	7,040円	6,490円
小・中学生 <small>幼児無料</small>	6,710円	6,270円

※表示料金は税込

●武道目的以外の宿泊(1泊夕食・朝食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
大人	7,370円	6,930円
小・中学生 <small>幼児無料</small>	6,820円	6,600円

・幼児の室料は無料です。・昼食料金…990円
・食事はビュッフェ形式。
・宿泊利用での施設使用料は無料です。ただし、宿泊を伴わない場合は、別途使用料金を頂きます。

武道の合宿をはじめ、文化系(書道等)、スポーツの合宿、研修講習会、その他会議、パーティー(式典等)、サークル、個人の方などに幅広くご利用いただいております。

●お問い合わせ・ご予約・お申し込み先は…

日本武道館研修センターまで
〒299-5231 千葉県勝浦市沢倉582
TEL 0470-73-2111 FAX 0470-73-2819
日本武道館ホームページ又はGoogleマップで館内の施設が確認できます。

日本武道館研修センター



百錬自得



国際武道大学

《体育学部》 ◆武道学科 (9 コース) ◆体育学科 (6 コース)

所在地：千葉県勝浦市新官 8 4 1 番地

お問い合わせ先

入試フリーダイヤル：0120-654-210

n-center@budo-u.ac.jp

剣道日本

昇段したい
試合で勝ちたい
楽しみたい
そんな思いに応える月刊誌です



◆定期購読絶賛受付中◆

1冊 1,500円 × 12号分 = **18,000円** (税込)



ここでしか見られない
秘蔵映像、あります



剣道日本YouTubeチャンネル

ホームページでしか買えない
書籍・DVD、多数あります



剣道日本公式通販サイト

株式会社 剣道日本

〒100-6104 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー 4階
Tel 03-6205-8102 fax 03-6205-8103 E-mail sales@kendo-nippon.co.jp

おかげさまで創刊48年
剣を学び、道を学ぶ。剣道時代は「読む」剣道です。

強くなりたいなら剣道時代。
勝ちたいなら剣道時代。
合格したいなら剣道時代。
そして、剣道を人生の糧にしたいなら剣道時代。
あなたの剣道時代は読む剣道です。

全日本剣道選手権大会の様子は、
剣道時代2022年1月号（11月25日発売）にて掲載します。

月刊 剣道時代
K E N D O J I D A I

2021
11
NOVEMBER

●読者と共に創造する
KENDOJIDAI
MONTHLY
KENDO MAGAZINE
NUMBER-597
定価 980円

表紙&インタビュー
岩切勇磨 (国府武道大学)
YUMA IWAKIRI

●特別企画
足さばき稽古法
&トレーニング
①高壮年剣士はここに気をつけよ
②一流剣士が実践する稽古とトレーニング

●特別企画
神奈川全中への
道のり
北海道から沖縄まで。
47都道府県の熱戦を詳報

●特報-1
全日本東西対抗大分大会
2年ぶりとなる東西対抗を、
吉成正大が「字ひ」を視点を試合を分析、レポートする。

●特報-2
全国中学校剣道大会
熊本勢強し。
九州学院中、菊池南中に栄冠

連載
恩田浩司
市民剣士上達塾
剣道を高める、深めるには細部にこだわり稽古を続けること。
全日本選抜剣道八段優勝大会優勝の
恩田浩司剣士八段が徹底解説する。

●強力連載
亀井徹 昇格審査との向き合い方
田原弘徳の面を取ってもとまらない

●大会レポート
寛仁親王杯剣道八段選抜大会 - 皇宮藤原剣士初優勝

新・剣道の技術
SPECIAL FEATURE
第74弾
間合と機会を
有効打突の要素
適正な間合
打つべき機会を
正確に
つかむるには
ここに注意して
練習する

特集
間合と機会を
体得せよ

岩切

国際武道大会

YouTube×剣道時代
道辺正行の
剣道まっくら!

taiku-sports.co.jp

月刊 剣道時代

定期購読

◆毎月お手元に配送
送料サービス(国内)

のススメ!

毎月25日発売
定価980円

【月刊『剣道時代』予約購読のご案内】

お近くの書店に月刊『剣道時代』が置いていない、定期的に書店へ行く時間がないなど、書店でお求めになりにくい場合は、予約購読をお勧めいたします。送料サービス(国内)。海外への発送も承っております。営業部までお問い合わせください。

【お申し込み方法】

「○月号より予約」と明記し、本誌綴じ込みの郵便振替用紙または現金書留にてご送金ください。

ホームページからも申し込みできます。

月刊『剣道時代』

年間定期購読 [1年単位・12か月分]

定価980円×12号=11,760円(税込)

(株)体育とスポーツ出版社

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 3階 郵便振替 00100-7-25587 <http://www.taiku-sports.co.jp/>

電話 03-3291-0911 FAX 03-3293-7750

昂ぶらず冷めず。常ならざる姿が常になる。

平常心を纏う剣道衣、

《剣》誕生。

ファイテン社製の

アクアチタン繊維が

道衣の裏に柔軟な帷子のごとく

配された製品。

平常心なくして斬られない

「剣」の常におこし、

昂ぶる心のありようを

平常の心へと導きます。

剣道に継承される本来の正しいカタチを

新しい技術と融合することで、

その「解」へと導きます。



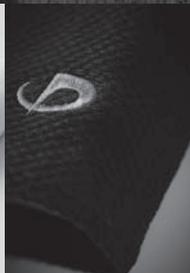
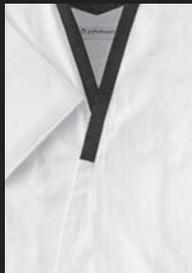
武州正藍染、極上一重刺剣道衣 16,800円～

速乾、抗菌性

裏地

アクアチタン / アクアチタンとは、ファイテンの水溶性メタル技術でチタンをナノレベルで水中に分散したもので、身につけるだけで心身をリラックス状態へとサポートします

生 地 / 伸縮性に優れた生地はカラダのあらゆる動きにも安定した着圧を保持。少ないチカラでタテ、ヨコの動きに対し自在に伸縮します。



phiten

極限まで精神を高めるトップアスリートたちのボディケアにおいて定評のあるファイテン。チタンをベースにネック&プレス、サポーターなど様々な健康グッズを販売するメーカーです。

【ファイテン株式会社】

<http://www.phiten.com/>

アクアチタンを施した《剣》シリーズ、「襦袢」・「剣道袴」・「手ぬぐい」・「アキレス腱保護サポーター」も登場!

株式会社 杉興堂 × phiten

渋谷店ショールーム：東京都渋谷区道玄坂 2-17-3 Tel.03-3463-0471

<http://www.shokodo.com/>

刻、百年。

日本橋、

森武道具。

堅く柔らかく

相容れる技

進化する防具

生み出される姿

変わらないカタチ

創業大正二年

旺山作 穂号



静心

東京 $\leftarrow M \rightarrow$ 日本橋

森 武道具株式会社

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町6番12号 電話 03(3661)0469(代) FAX 03(3661)0059

<http://www.moribudo.co.jp>



純銀製優勝盃



各種トロフィー・カップ・表彰楯

各種記念品から表彰カップ・トロフィーまで
心のこもったオリジナリティーの高い商品をお届けいたします。

お問い合わせは

ENEOSTレーディング株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 (東京建物日本橋ビル)
www.notc.co.jp

TEL 03-6262-2700

営業時間/9:00~17:30 [月~金]

KONISHI

詳しい商品情報はこちら



一、八と瓶詰 (化粧箱のご用意もございません)

長寿蔵 オンラインショップ

<http://choujugura.com/>

TEL : 072-773-0524

FAX : 072-773-1165

- ◆ 営業時間/10:00 ~ 19:00
 - ◆ 定休日/毎月第2火曜日、1/1
- ※都合により、営業日・営業時間は変更となる場合がございます。

小西酒造株式会社

お客様相談室: 072-782-5251
(土、日、祝日を除く9時~17時)

創業1550年 小西酒造ホームページ
<http://www.konishi.co.jp/>



飲酒は20歳になってから。
お酒は、おいしく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。



本醸造

伊丹 諸白
超特撰 白雲
いたみもろはく



日本遺産

「伊丹諸白」と「灘の生一本」
下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷

小西酒造は伊丹・有岡の地で、
四七〇年にわたり
酒造りを続ける蔵元です。



インターナショナル・
ワイン・チャレンジ
2021
SAKE 部門
トロフィー
受賞

七二〇ml瓶詰

祝 第69回 全日本剣道選手権大会



廣栄武道具(株)

〒670-0054 兵庫県姫路市南今宿7番6号

TEL(079)297-6611

FAX(079)297-6619

E-mail/ninjapan.kendo@kdb.biglobe.ne.jp

武道コーエイ

KOEI BUDOGU

Japan-Made High Quality Budogu

世界文化遺産
国宝 姫路城



KENBU-DO

人と武道の明日を考える

豊富な品揃え

建武堂では都内有数の広い売り場スペースに各種商品を豊富に展示しております。是非一度御来店下さい。

アフターフォロー万全

あなたにあった道具のカウンセリングからアフターフォローまでをサポートいたします。

株式会社 建武堂

営業時間AM10:00~PM7:00

(日曜・祭日はPM6:00まで) 毎週月曜定休

〒170-0013東京都豊島区東池袋1-15-1菱山ビル2F

TEL 03-3971-4840(代)

FAX 03-3971-4461

URL: <http://www.kenbu-do.co.jp/>

e-mail: information@kenbu-do.co.jp

ここまで使って
もうえると
ほんとに嬉しい
建武堂に帰れば
いくら寝れても
また戦える



道具の
道

制覇

制覇
PRO

PRO シリーズ

フィット感、軽さ、柔らかさを追求!!

現代剣道の為に作られた、理想の剣道具です。形状、素材にはすべて理由があります。
体と一体化したストレスのないフィット感は剣道家が追い求めている究極のスタイル。それを実現。
すべての剣道家に満足していただける剣道具だと自負しております。
激しい稽古にも良し、少しの妥協も許さない試合用にも最適です。

制覇 株式会社 **城西** JOSAI
SEIHA 会社 **武道具**

千葉県稲毛区作草部1-4-8
【定休日】 祝日、毎週火曜日
【URL】 <http://www.e-josai.com>

TEL : 043-285-3876
FAX : 043-285-3771

【剣道具・武道具一式 販売・修理】

<剣道・居合・なぎなた・杖道・合気・柔道・空手>

慶応3年創業 二代目 小林富次郎直伝 全日本武道具協同組合

(有) 小林一心堂武道具店

代表 四代目 荒川マイスター（武道具修理工） 稲垣禮子



おかげさまで**154周年**。

ホームページ、Facebook をご覧ください!

★ 体にピッタリと合った防具と道着の提供を第一にしている。

[H.P.へ]

営 平日11:00~19:00 (日曜~18:00)
休 月曜、木曜、祭日、第1・第3日曜
交 地下鉄千代田線、京成線、都電・町屋
駅下車徒歩1分。東京武道館から2駅
P あり

住 〒116-0001 東京都荒川区町屋1-2-3
T 03-3895-1031 **F** 03-3895-6580
URL <http://kobayashikendogu.main.jp>
検索 小林一心堂武道具店
MAIL kobayashi1shindo@yahoo.co.jp



真剣&名刀写し&居合稽古刀

拵部品各種・換え鞘も取り揃えてございます。

＊剣道 ＊柔道 ＊空手道 ＊合気道 ＊居合道 ＊剣詩舞道 ◀用品▶
KENDO JUDO KARATEDO AIKIDO IAIDO KENSHIBUDO



TEL 03-3262-1969

武道具デパート

KUDAN-SHITA TOKYO

九段下
株式会社 櫻屋

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-4
地下鉄 九段下駅 3番出口前 九段下四つ角

◀営業時間 10時～7時

◀定休日 毎週水曜日と日曜日

www.sakuraya.org

剣道・居合道・空手道・合気道・柔道

尚武堂産業株式会社

東京都文京区本郷1-4-6

TEL.03(3815)0411(代)

- JR(中央線)水道橋駅下車
- 地下鉄:(都営 三田線) 水道橋駅下車
(東京メトロ丸の内線) 後楽園駅下車

営業時間:AM10:00~PM7:00

定休日:毎水曜日

輝いた自分へ贈り物を。

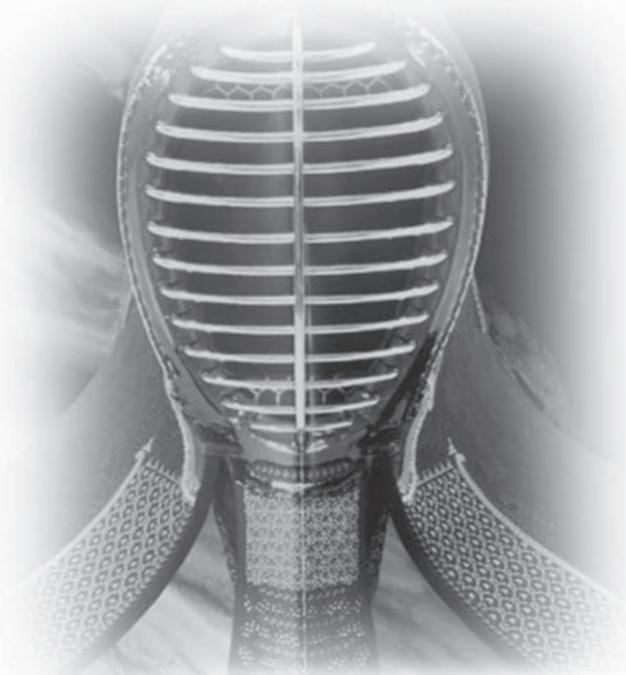
<http://www.koyoshoji.biz/>

お弁当・飲み物など飲食料品から
楯・トロフィーなど表彰用品や
大会記念品・各種オリジナル商品など
幅広く取り扱っておりますので
お気軽にお問合せください。

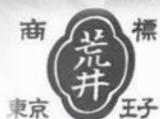


株式会社 **光洋商事**
日本武道館常設売店

神奈川県大和市中央林間 1-10-19
TEL 046-278-2288 FAX 046-272-5822



伝統の技術を守り
よりよい武道具の
ご提供を目指しております。
又、修理、お手入れ等先々の
メンテナンスも一級の技術にて
お応えしております。



株式会社

アライ武道具

東京都北区王子2丁目28番10号
TEL 03(3911)8694 (月曜日定休)
FAX 03(3911)8545
<http://www.budogu-arai.com>

旭峰



祝

第69回

全日本剣道選手権大会

ミツボシ剣道具「徹底解析」
6mmピッチ総織刺

【旭峰・KYOKUHO】

YouTube



コチラのQRコードより
ご覧いただけます。

峰シリーズ・ピッチ刺の原点
ミツボシ国産フルオーダー製作数 No.1



製品のご購入・お問い合わせは

武道用品の総合メーカー

株式会社 **ミツボシ** www.mitsuboshi-budo.co.jp

東京事務所(蔵前サロン)

〒111-0051 東京都台東区蔵前1丁目7番12号三光ビル103号
TEL 03-5809-1677(店長：関) FAX 03-5809-3107

本社/事業本部

〒520-0357 滋賀県大津市山百合の丘10-26
TEL 077-535-9136 FAX 077-535-9137

プリ・テック株式会社

❖ 本社

〒445-0804 愛知県西尾市緑町1-24
TEL.0563-55-0707 FAX.0563-55-0202

❖ 名古屋支店

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目2番10号
TEL.052-588-5822 FAX.052-588-5931

❖ 東京支店

〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-16
TEL.03-5800-8961 FAX.03-5800-4430

プリ・テックグループ

❖ 半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-21
TEL.0569-29-2525 FAX.0569-29-4500

❖ トーヨー印刷株式会社

〒507-0065 岐阜県多治見市根本町12-144
TEL.0572-29-3346 FAX.0572-29-3772

❖ プリテックメディア株式会社

〒445-0815 愛知県西尾市菅原町258
TEL.0563-55-0700 FAX.0563-55-0701

❖ 有限会社プリテックジャパン

〒475-0024 愛知県半田市亀崎高根町3丁目
105番地の13 TEL.0569-20-1020



プリ・テックグループは全ての事業所で
プライバシーマークを取得しています。

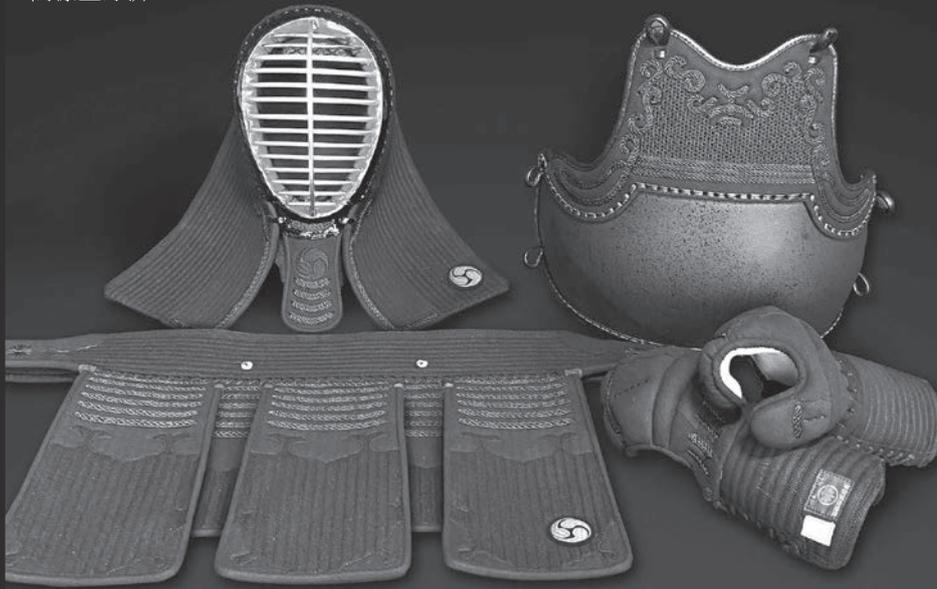
www.pritech.co.jp

まず、気づくことが
ご提案の第一歩です。

P.T.C.
GROUP

マーケティング・プランニング・デザイン・DTPから
印刷・仕上げまで、トータルにサポートいたします。

商標登録済



家紋を入れられる位置の見本



二重刺が新登場!

霞流監修 二重刺セット

いぶき

衝撃吸収性が高く体に馴染み易い二重刺になり、更に進化しました。お好みの位置やお色で家紋刺繍をお入れします(写真は一例)。もちろん家紋無しでも承ります。十字刺、ピッチ刺ともどもよろしくお願ひ致します!

お誂え 二重刺防具セット いぶき

胴胸デザインはお気軽にご相談ください

▼お誂えセット税込み価格
88,750円から
※ご希望内容によっては別途料金が発生することがございます。

面：二重刺、アゴ家紋刺繍入り
胴：胸クラリーノ・オリジナル飾り
胸台50本型樹脂、二本足
甲手：総クラリーノ(総紺革風)
くの字甲手仕様
垂：6段手飾り

剣道 いぶき

検索

女性専用も
お作りします!

詳細はWEBでどうぞ⇒



ご希望の
デザインで
お作り
します

ネットショップでは豊富なお写真にてデザイン例をご紹介します。



毎日超特価

福田武道具
アウトレット専門店



霞流剣道具製造元
(株)福田武道具

〒351-0011 埼玉県朝霞市本町2-6-43

電話：048-465-5771(代表)
携帯電話：080-5880-5771 / ファックス：048-465-9370
営業時間：午前10時～午後7時(土日祝は午後6時まで)
火曜日・第1月曜日定休 / 東武東上線「朝霞」下車徒歩4分

広告

剣道用ペースメーカー保護帯 & 剣道用 S-ICD PROTECTOR

(衝撃吸収緩和パット付)

まもる君

2021 新発売!!

¥24,800(税込)
+送料 520 円

装着簡単!

ベスト型



BUSHIZO 検索

日本製

MADE IN JAPAN
ORIGEM : JAPAO

実用新案特許 第3161705号
意匠登録 第136923号

心臓疾患を患い、胸にペースメーカーを埋め込んでも尚、剣道修業を続けたいと思っている剣道愛好者に、剣道用ペースメーカー保護帯「まもる君」をお勧めします。

衝撃吸収緩和パットが体内植込み機器への衝撃を緩和吸収するように考案され、安心してお使い頂けるアイテムです。不可抗力的打突から身を守る術は、「海女が時雨に蓑を着る」心境に通じ「攻防一致」を目指す剣道、先ず身を守る事が肝要です。

※本品は疾病の治療や予防を目的とした医療用機器ではありません。過信はしないで下さい。

■レギュラーサイズ表

サイズ	胸囲	肩幅	着丈	ウエスト
S	106(80~ 88)	40	62.5	68~ 76
M	110(88~ 96)	42	64.5	76~ 84
L	114(96~104)	44	66.5	84~ 94

■オーダーメイド仕様 サイズ表

胸囲	肩幅	着丈	ウエスト
cm	cm	cm	cm

(オーダーメイド仕様の価格はレギュラー仕様価格の25%増)
※ 詳しくはお尋ね下さい。



東京多摩武道具店

〒185-0022 東京都国分寺市東元町3-30-8
☎ FAX 042-301-4147 携帯 070-5012-9556
<http://tokyo-tamabudouguten.com>

祝 第69回 全日本剣道選手権大会



松 勘

活人
KATSU
JIN



協力：一般財団法人 全日本剣道連盟 公益財団法人 日本武道館

大切な一瞬を記憶に残す

私たちは、全日本剣道選手権大会の会場づくりをお手伝いしています。

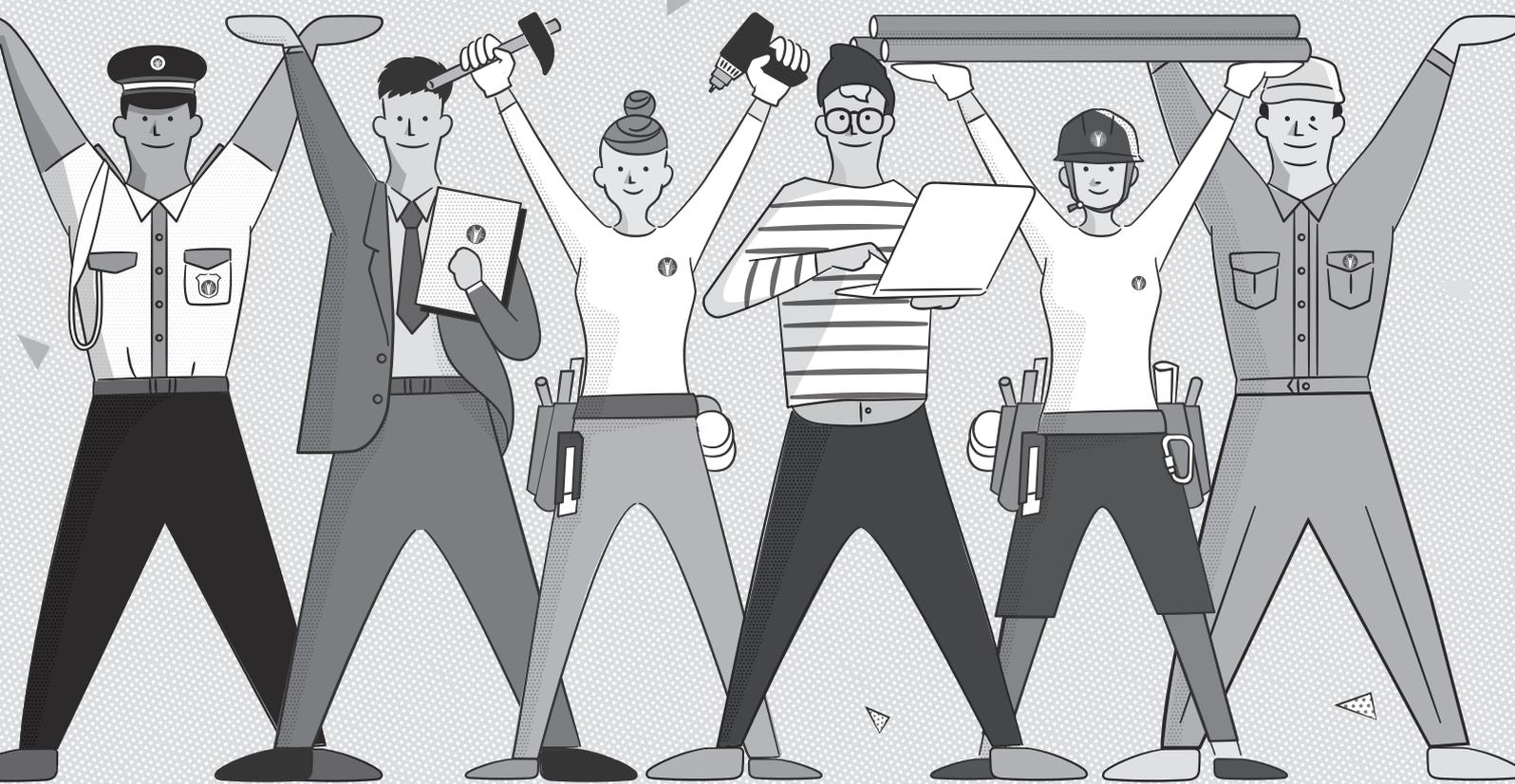
ムラヤマは潤いあふれる感動コミュニケーションを
創造しています

 株式会社 **ムラヤマ**
www.murayama.co.jp

イベントで働く。

もっと大きな感動が、ここにある。

輝く人びとを本気で支えたい。80年かけて磨いた技術と経験で、裏方としてイベントを創る。それが私たちシミズオクトです。



シミズオクト

シミズオクト



The Professionals

自分らしさを、
誰かのために。

警視庁

第3回 男性警察官[I・Ⅲ類]・女性警察官[I・Ⅲ類] 第2回 特別捜査官

第1次試験日：令和4年1月9日(日)

第1次選考日：令和4年1月30日(日)

申込受付期間：11月26日(金)～12月6日(月)

申込受付期間：12月16日(木)～令和4年1月6日(木)

警察官採用

◇ 警視庁では、武道の段位やスポーツ大会の出場歴など、皆さんがお持ちの資格や経歴などについて審査し、その内容の評定を行っています。



警視庁採用センター

警視庁 採用

検索

☎ 0120-314-372

Tel:03-3581-4321(代表)

採用サイト



LINE



文武両道

武の道で精神を磨き、
刑務官として躍進する。

取
鹿野
初

青
古
畑

山
尾
池

刑務官

武	道
区	分

 募集

道の始まりはここから

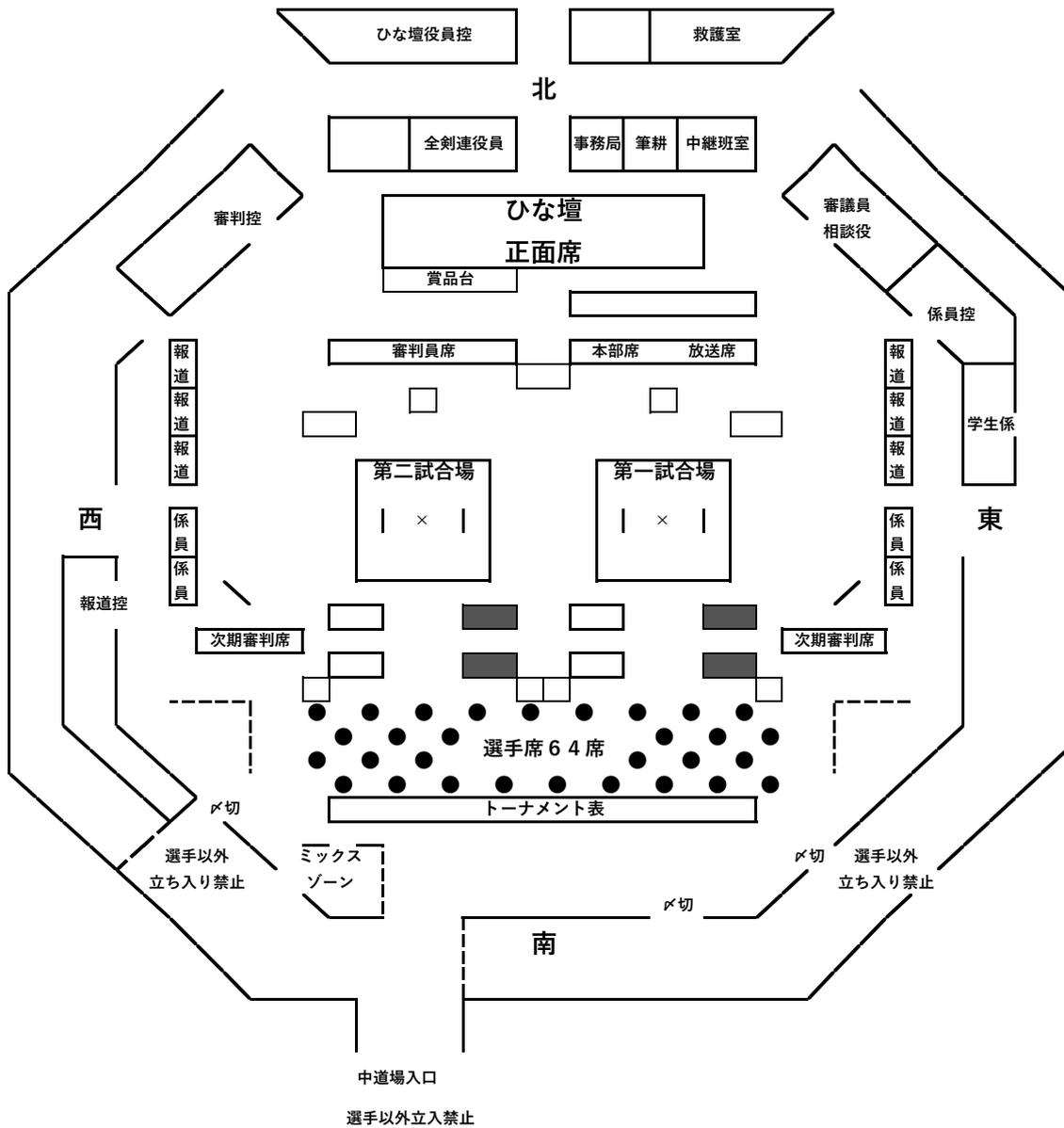


法務省

MINISTRY OF JUSTICE

[会場図]

アリーナ階 試合場配置図

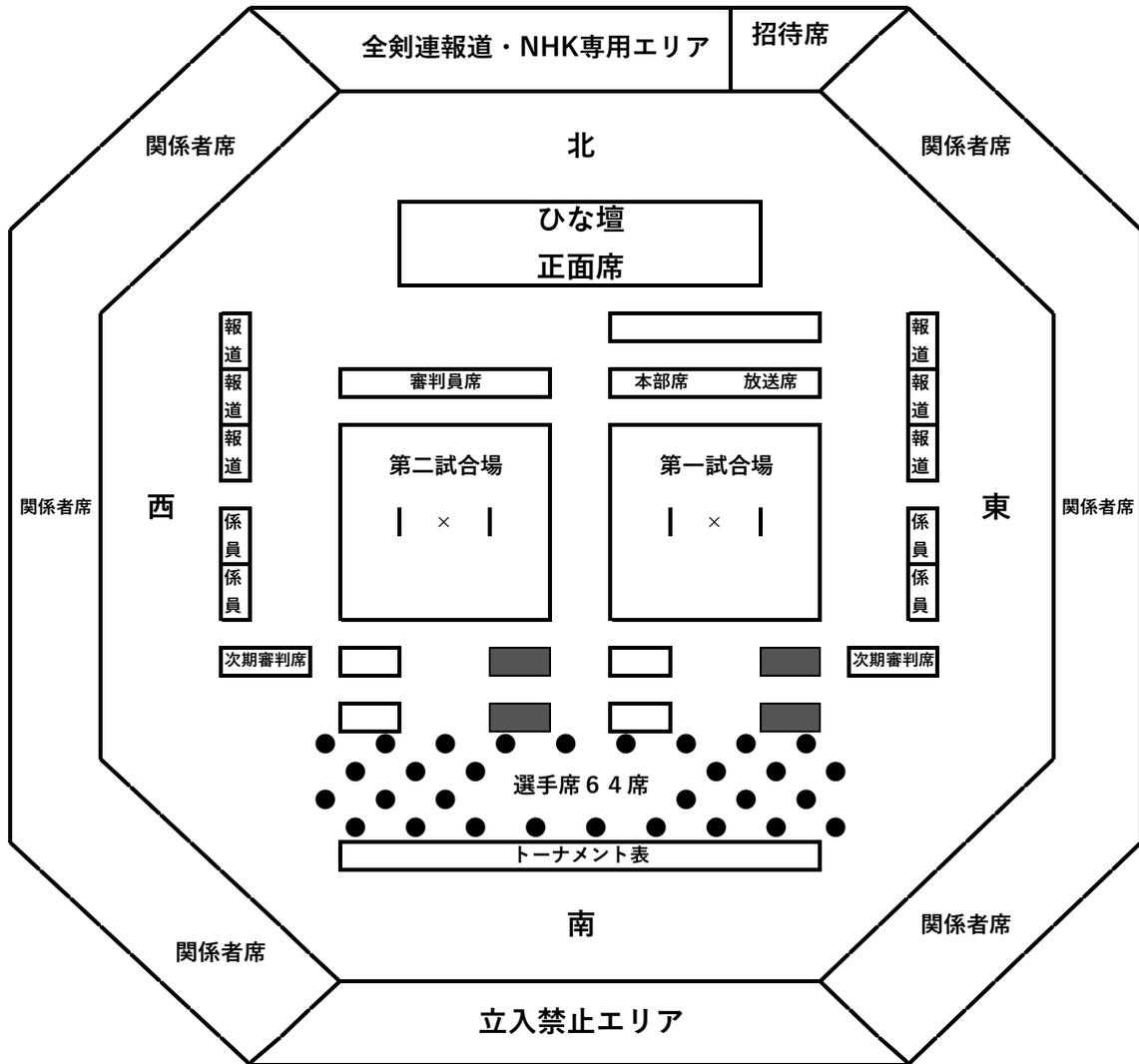


[会場図]

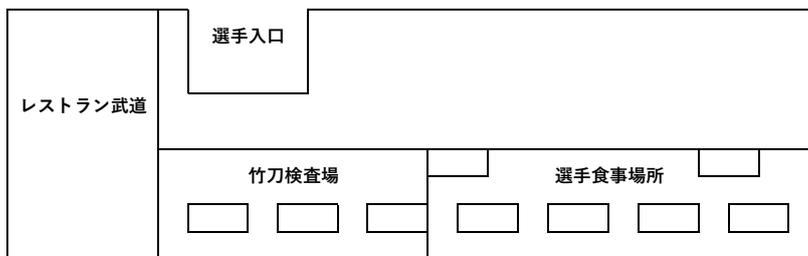
1階席配置図

北口：ひな壇役員・審判団受付

西口・剣連関係者・選手関係者受付



中道場棟口：選手受付



月刊 剣窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

〈特別協賛〉

剣道よ コロナ禍を踏み越えろ

私たちは《剣道》を応援しています



